

令和6年度

福島県保育士登録者へのアンケート調査

報 告 書

令和7年3月

福島県こども未来局子育て支援課

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の内容	1

II 調査結果の概要	2
------------	---

III 実態調査結果

問1 基本属性	4
問2 現在の就業状況	14
問3 雇用形態（保育士として働いている方）	15
（以下、現在、仕事に就いていない又は、保育士以外の仕事に就いている方）	
問4 現在の就業状況	18
問5 保育士を辞めた理由	19
問6 保育士として働かなかった理由	25
問7 保育士として仕事をしていない期間	26
問8 保育士として仕事をするについての意向	27
問9 保育士として働く場合に求める条件	29
問10 情報提供希望	36
問11 保育士として働くことへの不安・必要な支援	36

IV 巻末資料

1 依頼文、回答票	38
-----------	----

I 調査の概要

1 調査目的

福島県の保育士登録者に対し、保育士としての就労の有無の確認(現況調査)を行うとともに、現在、保育士として就労していない方に対する実態調査を行い、離職の理由や再就職の際に希望する雇用条件などを把握する。併せて、保育士として再度就職を希望する方の掘り起こしを行い、就職支援につなげることで保育士の確保を図る。

2 調査の内容

(1) 調査対象

平成29年4月から令和6年3月までに福島県に保育士として登録した人5,530名(書き換え登録を含む)のうち5,000名

(2) 調査方法

Google フォームによる web 調査、一部郵送による回答
(QRコード記載のアンケート調査票郵送)

(3) 調査実施期間 令和6年10月1日から令和6年10月31日

(4) 調査内容 巻末に掲載した調査票のとおり

(5) 回答結果 有効回収数1,288件(有効回収率28.1%、宛先不明418件を除く。)

Ⅱ 調査結果の概要

1 回答者の基本属性

今回の調査の回答者は、女性が94.7%、年代別では、平成29年4月以降に保育士登録した人が対象だったため20代が66.1%と半数を超えている。

子どもの数は2人と回答した人が45.8%と最も多く、末子の年齢は5歳未満が31.6%最も多く、次いで20歳以上が29.8%となっている。

居住地については、福島県内が9割近くを占め、市町村別では、福島市が17.1%と最も多かった。

2 現在の就業状況と保育士として仕事をしていない期間（ブランク）

就業状況は、「保育士（保育教諭を含む）として働いている」が65.1%と過半数を超えている。

保育士として働いていない人の内訳では、「現在、保育士以外の職種で働いており、過去には保育士として働いた経験はない」が51.8%と最も高く、「現在、保育士以外の職種で働いているが、過去に保育士として働いた経験がある」が26.7%、「現在、働いていないが、過去には保育士として働いた経験がある」が9.3%であった。

保育士として仕事をしていない期間（ブランク）は、平成29年4月から令和6年3月までに福島県に保育士として登録した人（書き換えを含む）を対象として調査したため、「1～5年未満」が57.8%と半数を超えている。

3 保育士としての仕事を辞めた理由（保育士としての仕事経験がある人）

保育士としての仕事を辞めた理由としては、「仕事量の多さ（記録等の事務、雑務等）」が44.4%と最も高く、次いで「職場の人間関係」が43.2%、「給料への不満」が34.0%、「勤務体制（勤務時間、シフト体制）への不満」が29.0%となった。

年代別にみると、20代では「仕事量の多さ（記録等の事務、雑務等）」に次いで「職場の人間関係」が多く、30代では「給与への不満」、「職場の人間関係」、「他職種への興味」、40代では「職場の人間関係」、「子育ての両立が難しい」、50代では「職場の人間関係」、「健康上の理由（体力を含む）」、60代では「家族の事情（夫の転勤、家族の介護等）」、「健康上の理由」が高くなっている。

4 保育士として働かなかった理由（保育士としての仕事経験がない人）

一度も保育士として働いたことがない人の理由は、「求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」が26.4%と「その他」を除いて最も高く、次いで「自分は保育士に向かないと感じた」、「はじめから保育士として働く意思はなかった」となっている。

年代別にみると、20代では「自分は保育士に向かないと感じた」、「求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」、「はじめから保育士として働く意思はなかった」が多く、30代、40代では、「求人情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」の割合が高くなっている。

「その他」の回答では、「幼稚園での勤務（希望を含む）」をあげる人が多かった（34人、11.8%）。

5 保育士として仕事をするについての意向

保育士として仕事をするについての意向としては、「現在の職場より良い雇用条件のところがあれば、考えても良いかと思う」が33.3%と最も高く、次いで「どんな条件があっても保育士として働くつもりはない」が16.2%となっている。

年代別にみると、40代、50代では「現在の職場より良い雇用条件のところがあれば、考えても良いかと思う」に次いで「働ける環境（子育て以外）を整えればやってみたいと思う」が多いが、それ以外の年代では、全体と同様の傾向となっている。

6 保育士として働く場合に求めるもの

雇用形態の希望は、「フルタイム」で働きたい人が61.4%であった。

年代別にみると、20代では83.6%であるものの、30代では50.0%、60歳以上では21.4%と年代が上がるにつれて、「パートタイム」で働きたい人の割合が高くなっている。

また、フルタイムで働いた場合の年収の希望は、「400万以上」が48.0%で最も高く、次いで「300～400万未満」が34.9%となっている。

パートタイムで働いた場合の1日あたりの勤務時間は、「6時間」が29.1%、「4時間」、「5時間」がともに28.2%とほぼ同じで、時間帯は「開始時間は」朝9時、「終了時間」は15時を希望する割合が高い。

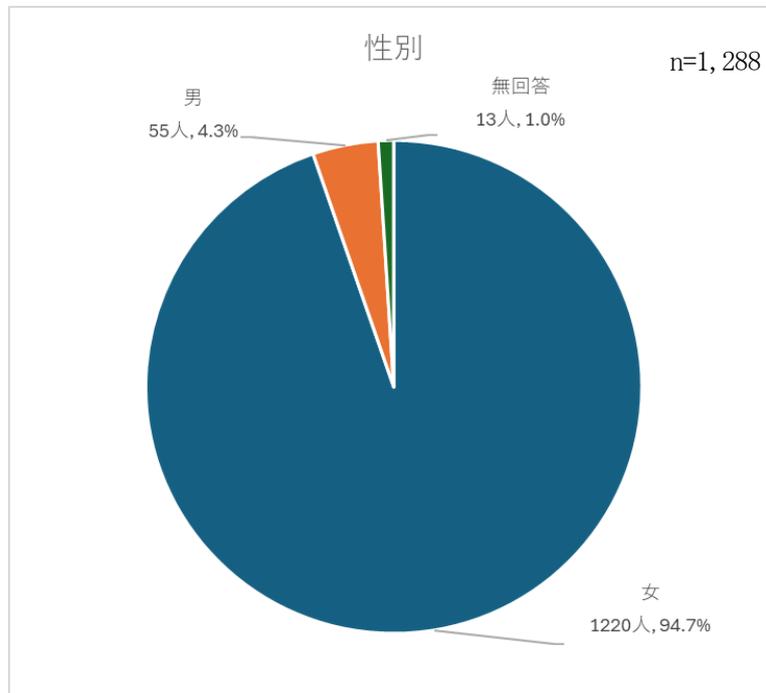
1週間の勤務日数は「3日」、「5日」が33.0%、「4日」が29.1%と同程度であり、時給は「1,000～1,100円未満」が39.1%で最も高く、次いで「1,500円以上」が19.1%となっている。

Ⅲ 実態調査結果

問1 基本属性 ○性別

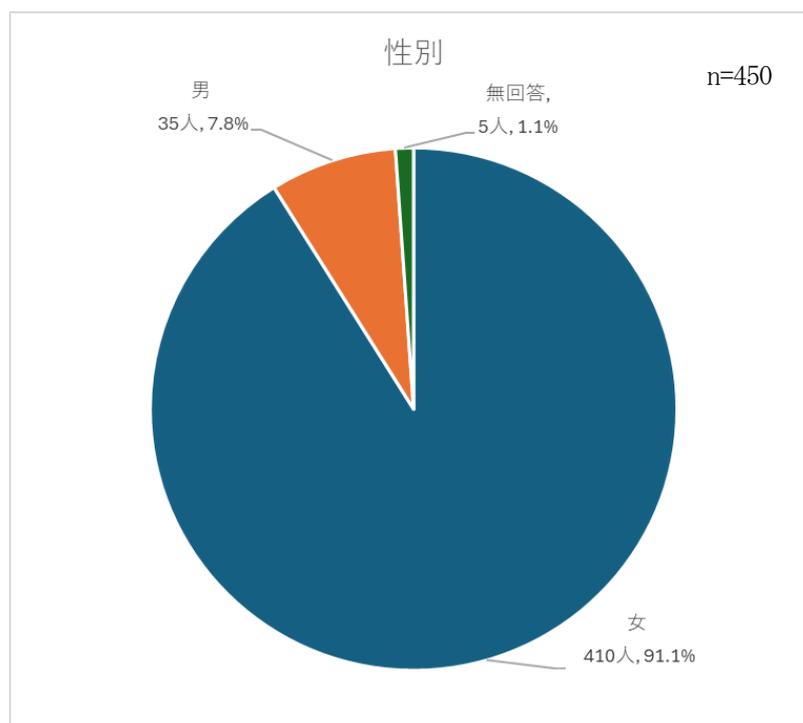
【全体】

性別では、「女性」が1,220人（94.7%）と多数を占め、「男性」は55人（4.3%）であった。



【保育士として就労されていない方】

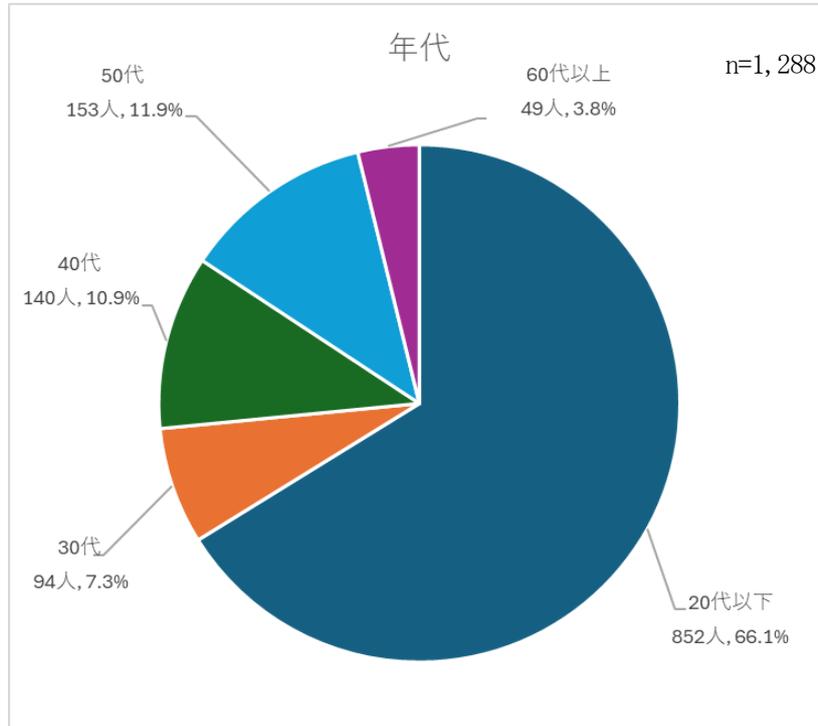
保育士として就労されていない方の中では、「女性」が410人（91.1%）、「男性」が35人（7.8%）であった。



問1 基本属性 ○年齢

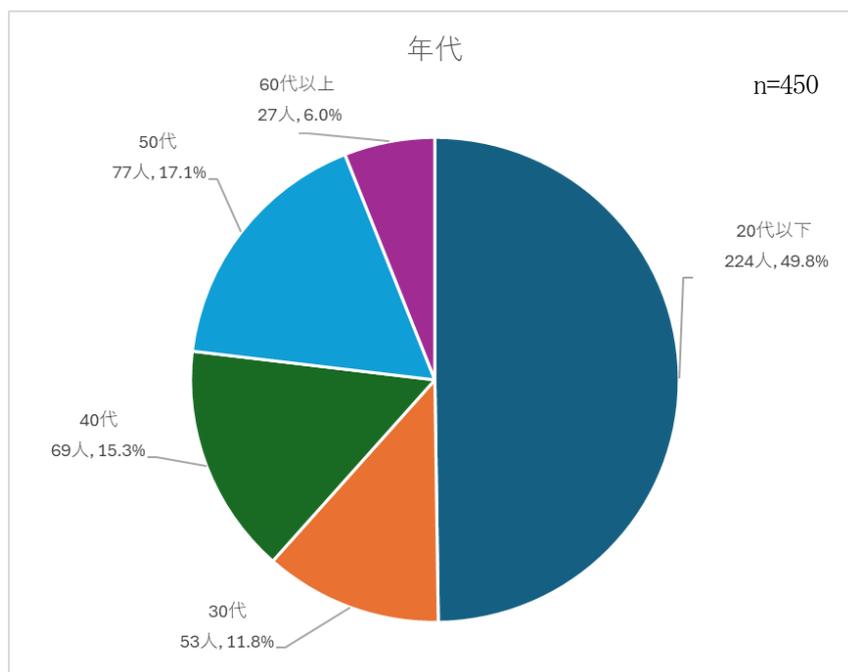
【全体】

年齢では、「20代」が852人(66.1%)と最も多く、次いで「50代」が153人(11.9%)、「40代」が140人(10.9%)であった。



【保育士として就労されていない方】

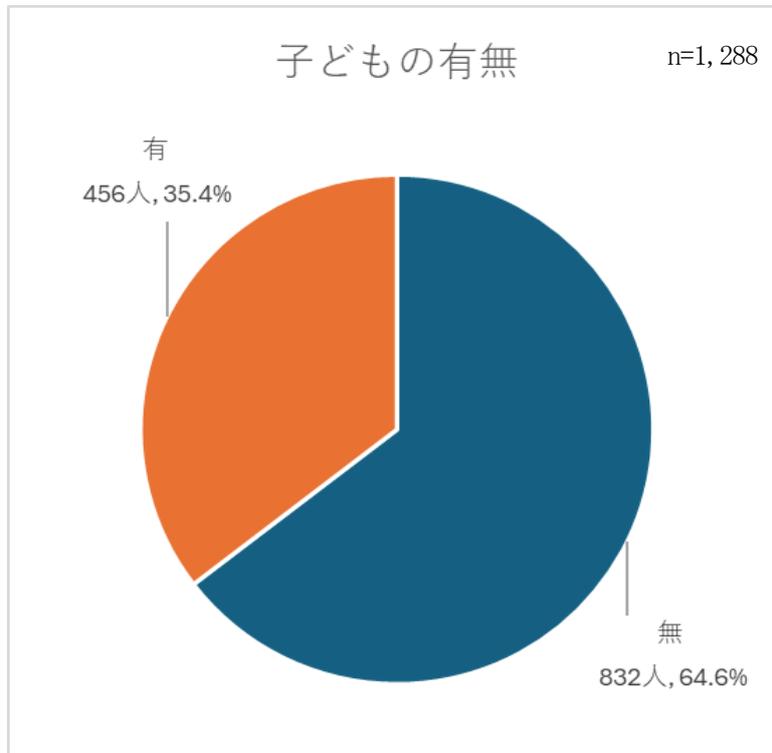
保育士として就労されていない方の中では、「20代」が224人(49.8%)と最も多かったが、全体の比率の66.1%よりは少ない比率であった。



問1 基本属性 ○子どもの有無

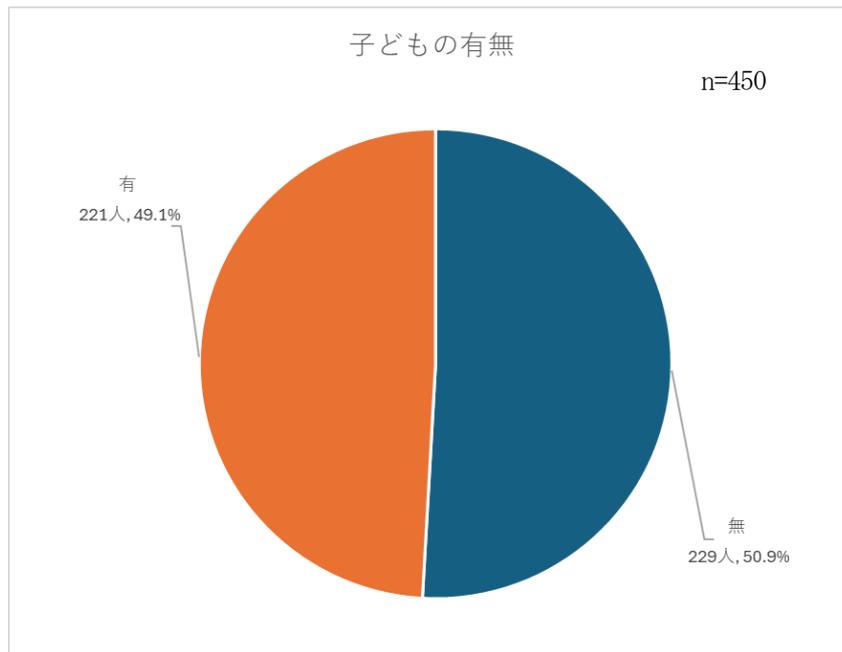
【全体】

子どもの有無では、「無」が832人(64.6%)、「有」が456人(35.4%)であった。



【保育士として就労されていない方】

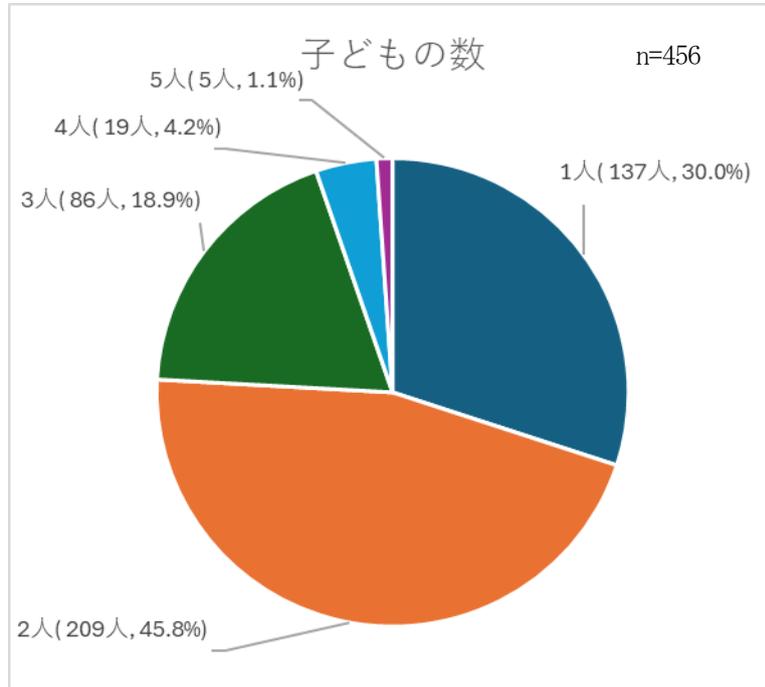
保育士として就労されていない方の中では、「無」が229人(50.9%)、「有」が221人(49.1%)であり、全体に比べて、「無」と回答した割合は低くなった。



問1 基本属性 ○こどもの数

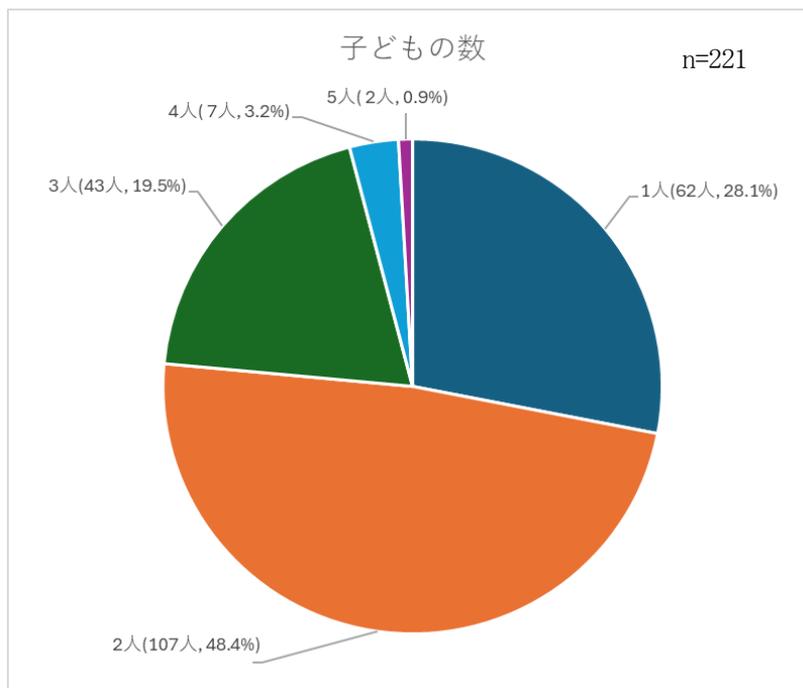
【全体】

こどもの数では、「2人」が209人（45.8%）と最も多く、次いで「1人」が137人（30.0%）、「3人」が86人（18.9%）であった。



【保育士として就労されていない方】

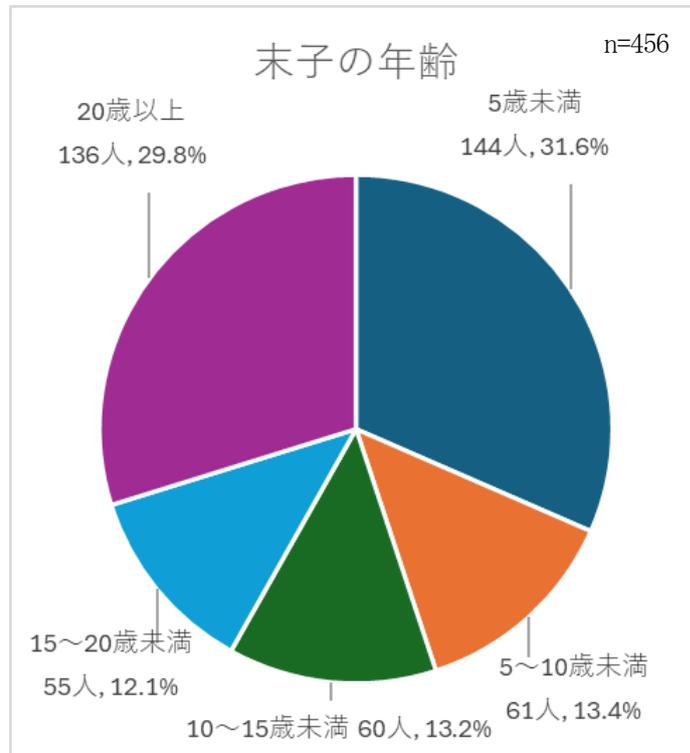
保育士として就労されていない方の中では、「2人」が107人（48.4%）、「1人」が62人（28.1%）、「3人」が43人（19.5%）であり、全体の比率とほぼ同様の傾向となった。



問1 基本属性 ○末子の年齢

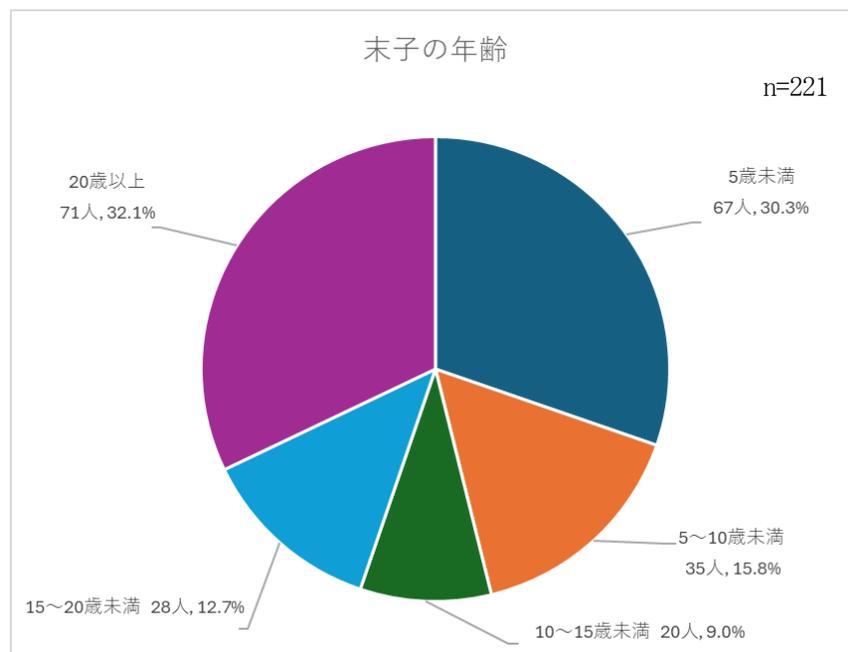
【全体】

末子の年齢では、「5歳未満」が144人(31.6%)と最も多く、次いで「20歳以上」が136人(29.8%)であった。



【保育士として就労されていない方】

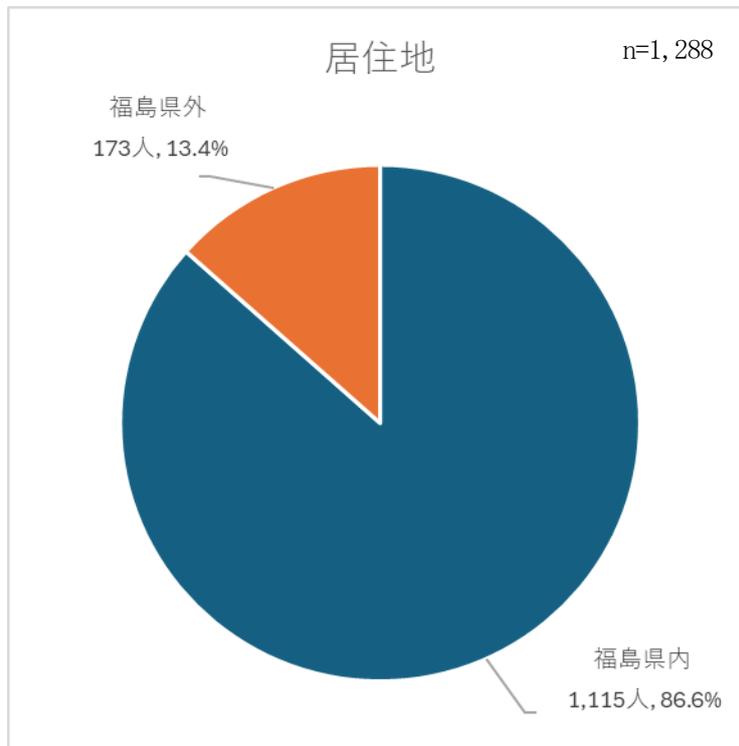
保育士として就労されていない方の中では、「20歳以上」が71人(32.1%)と最も多く、次いで「5歳未満」が67人(30.3%)であり、全体との比較では、「20歳以上」と「5歳未満」の比率がほぼ同程度の比率であり、ほぼ同様の傾向であった。



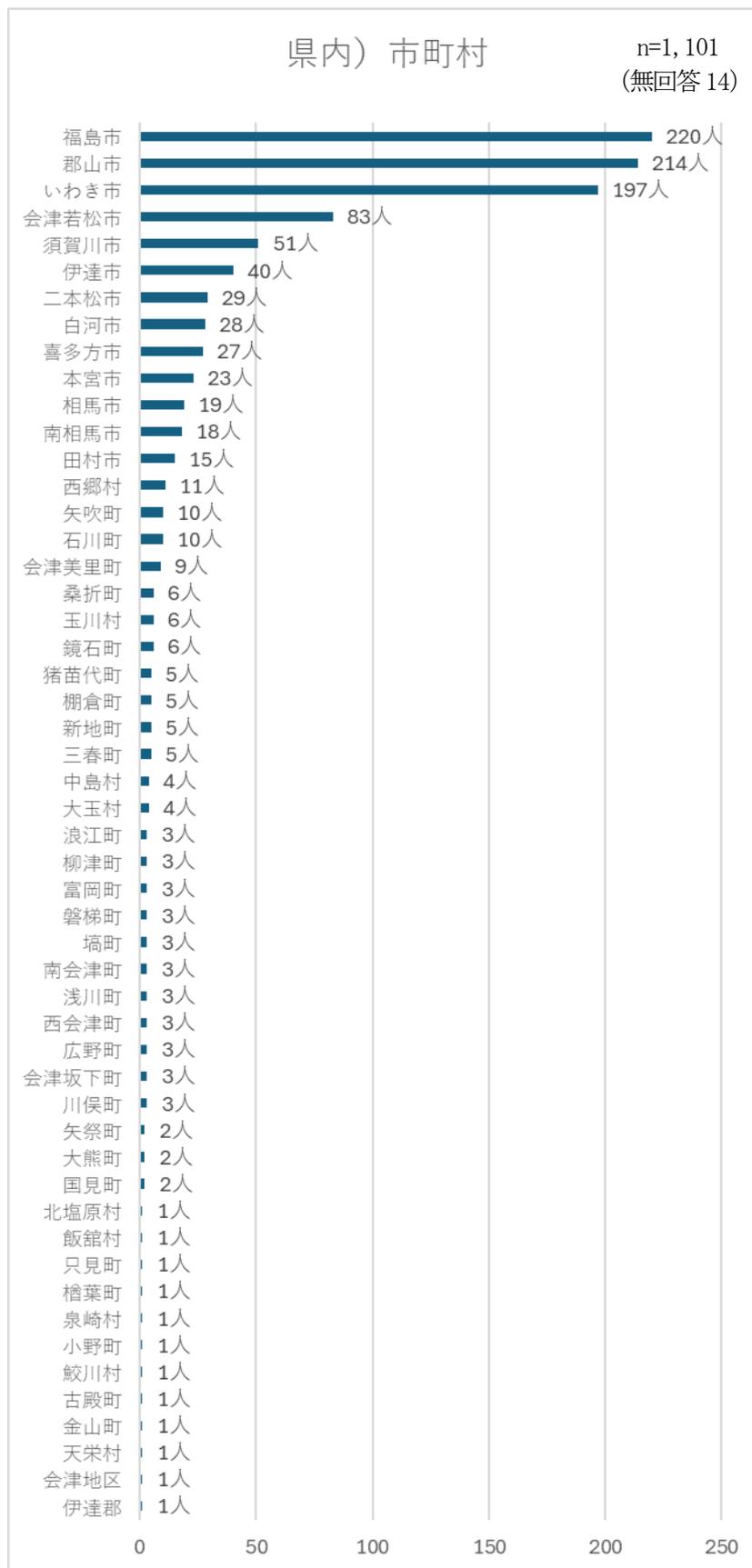
問1 基本属性 ○居住市町村

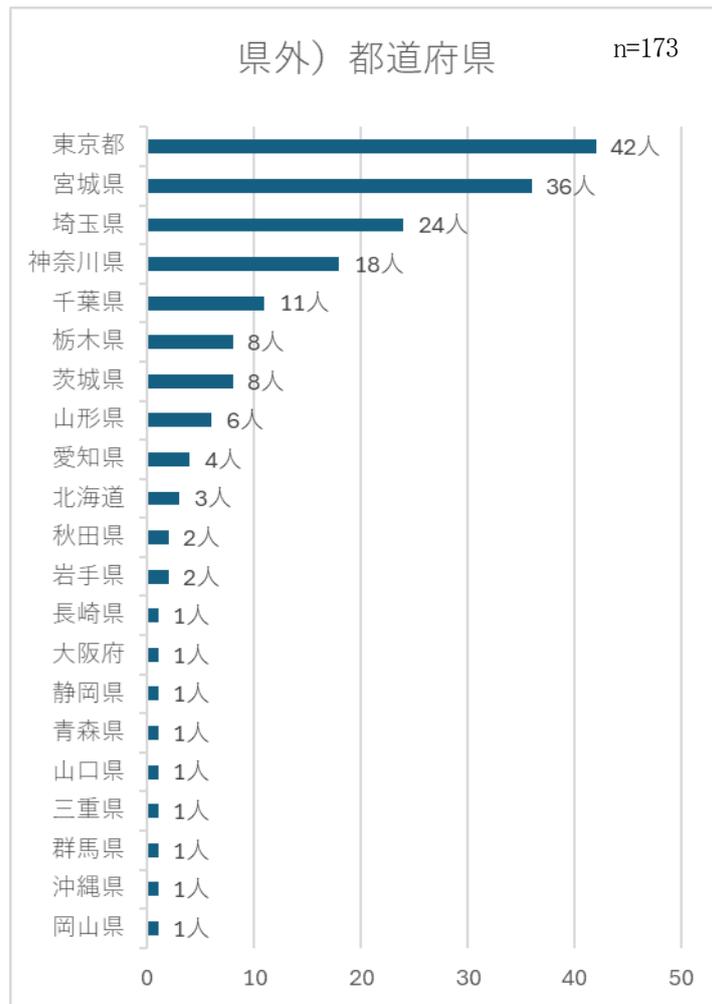
【全体】

居住市町村では、「福島県内居住」が1,115人（86.8%）と9割近くを占めている。



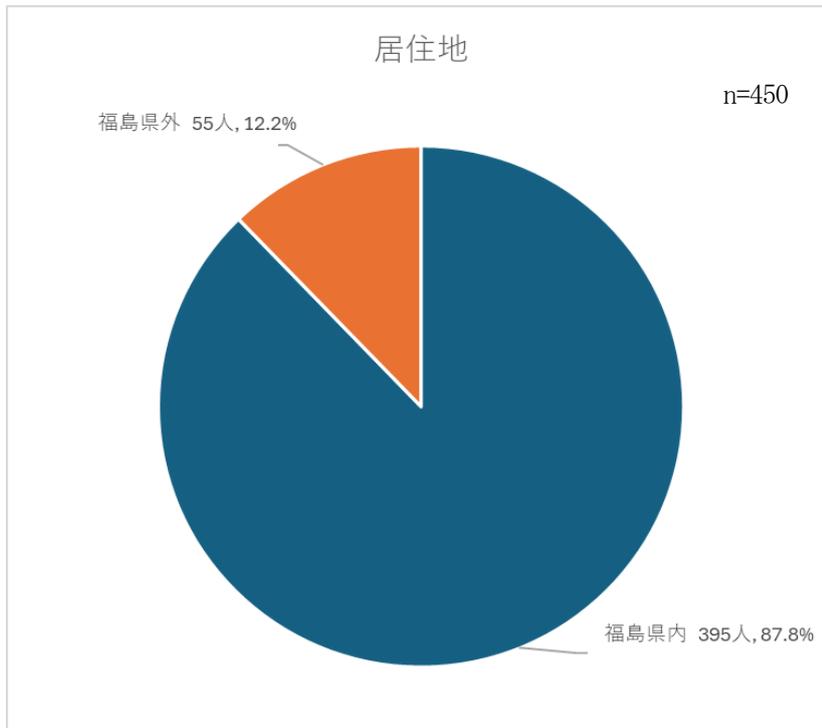
【居住市町村の内訳】





【保育士として就労されていない方】

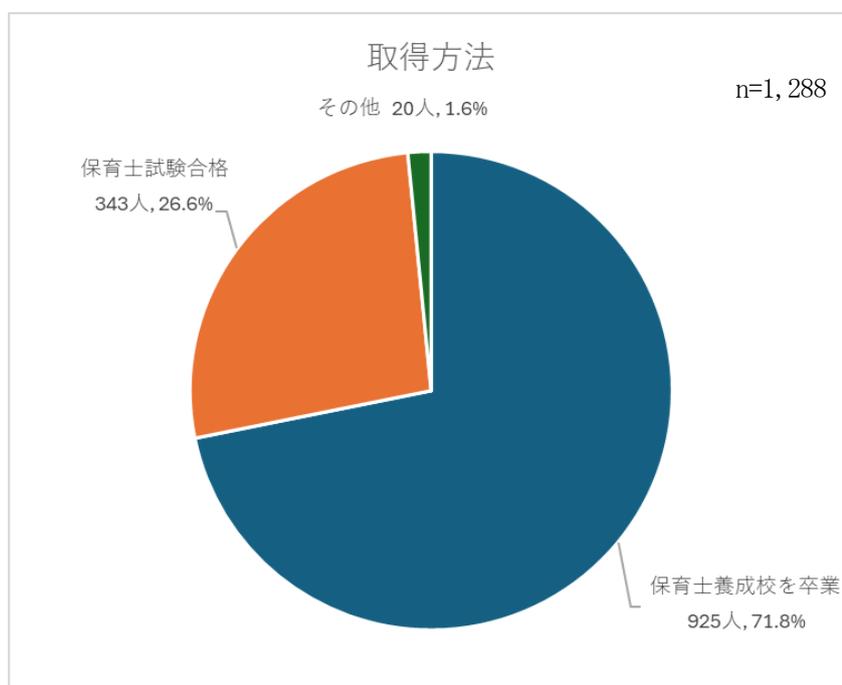
保育士として就労されていない方の中では、「福島県内居住」が 395 人（87.8%）と、全体の比率に比べて低い比率であった。



問1 基本属性 ○資格取得方法

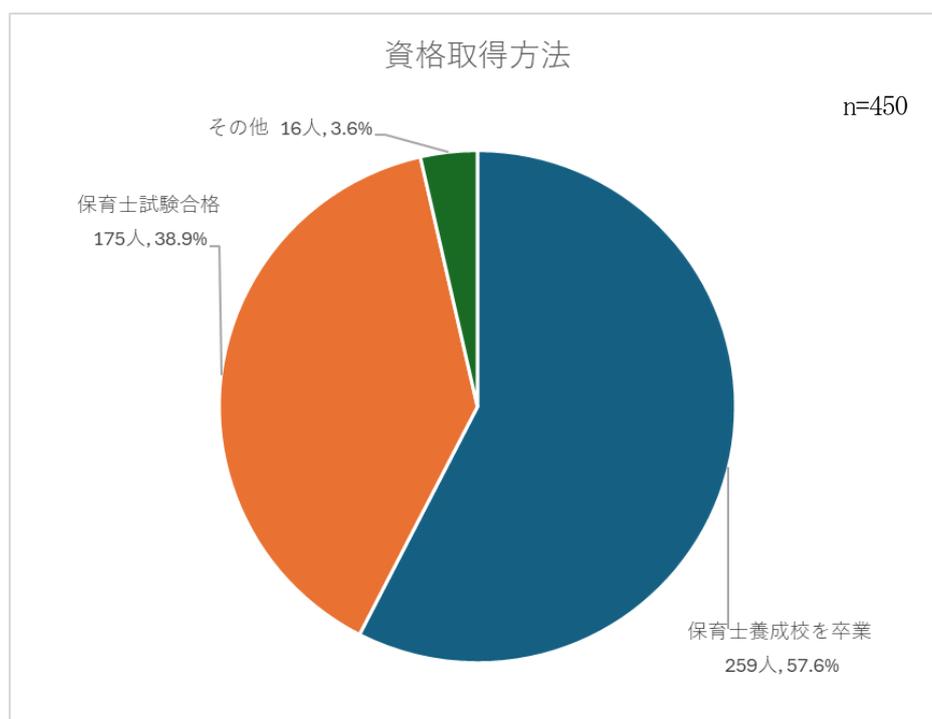
【全体】

資格取得方法では、「保育士養成校を卒業」が925人（71.8%）と最も多く、次いで「保育士試験合格」が343人（26.6%）であった。



【保育士として就労されていない方】

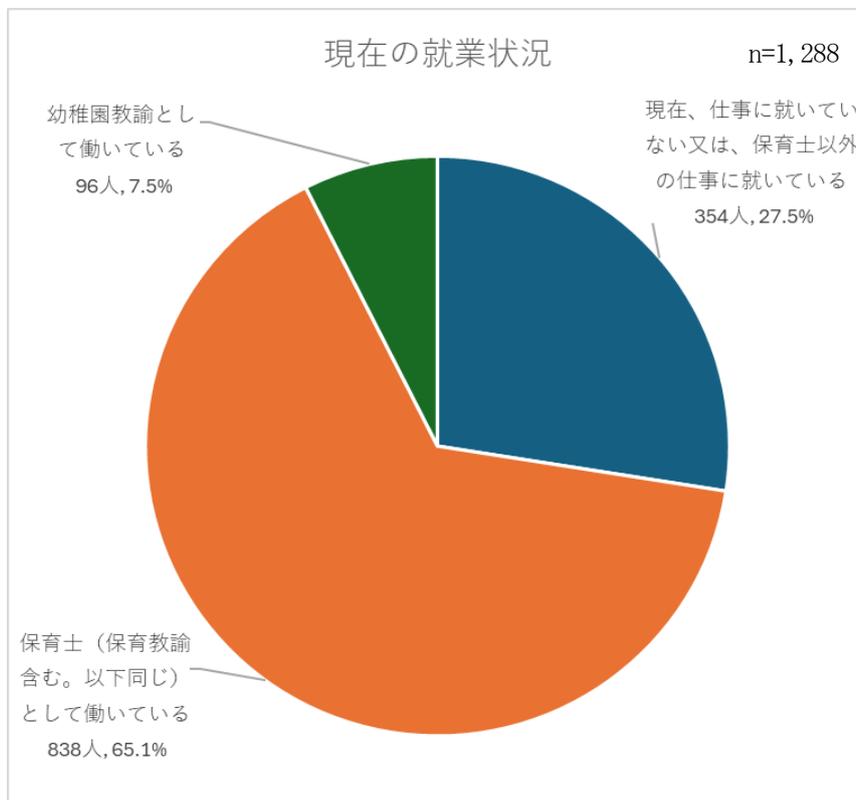
保育士として就労されていない方の中では、「保育士養成校を卒業」が259人（57.6%）、「保育士試験合格」が175人（38.9%）であった。



問2 現在の就業状況を教えてください。

【全体】

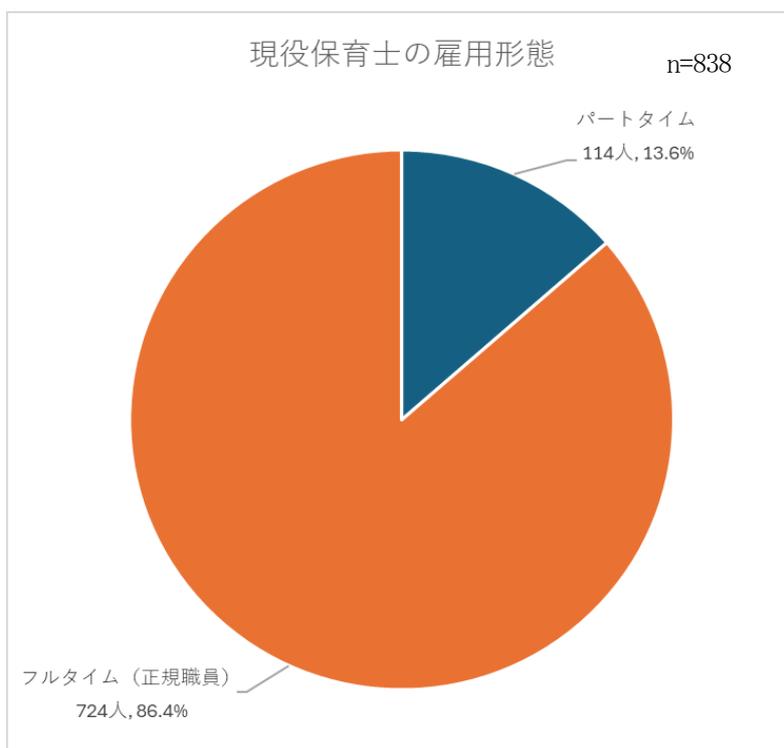
現在の就業状況では、「ア保育士（保育教諭を含む）として働いている」が838人（65.1%）、「イ幼稚園教諭として働いている」が96人（7.5%）、「ウ現在、仕事に就いていない又は、保育士以外の仕事に就いている」が354人（27.5%）であった。保育士として就業されていない方は、イ、ウを合わせた450人（34.9%）であった。



問3 現在の雇用形態を教えてください。(保育士として働いている方のみ)

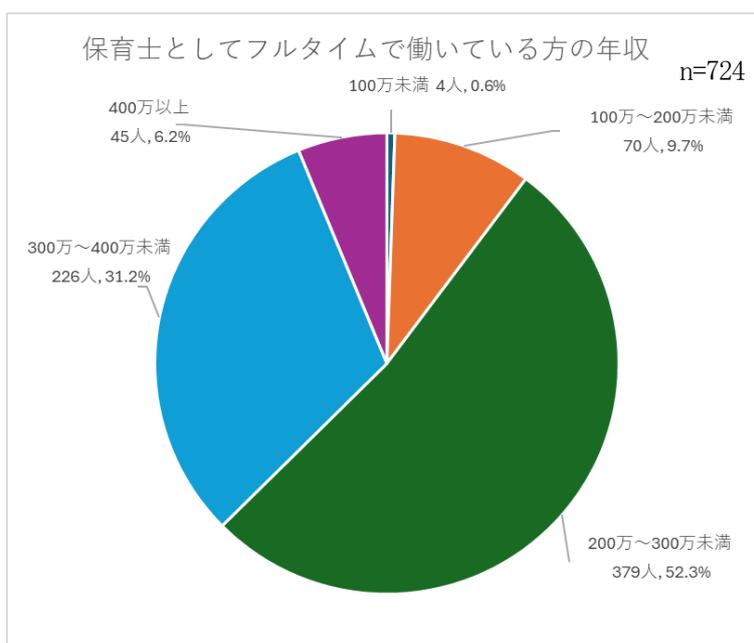
【雇用形態】

保育士として働いている方の現在の雇用形態では、「フルタイム(正規職員)」が724人(86.4%)、「パートタイム」が114人(13.6%)であった。



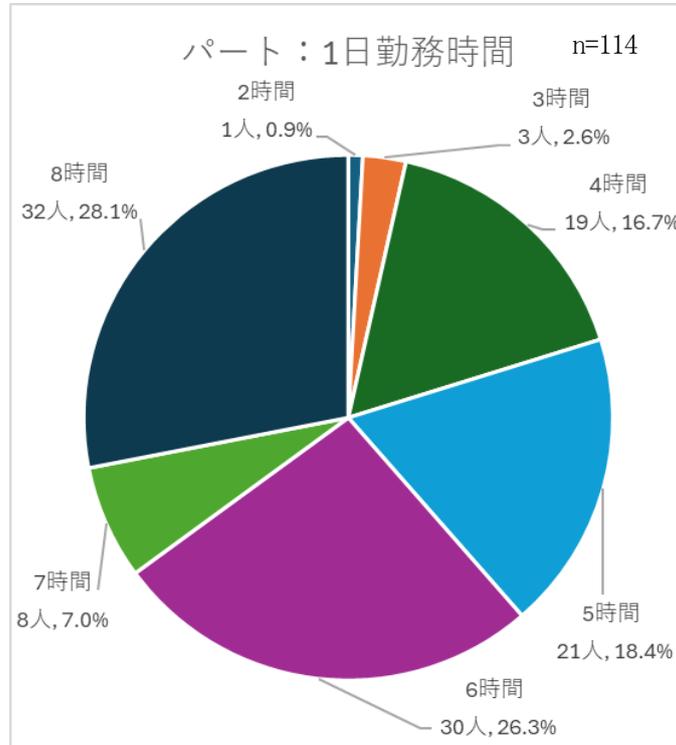
① 雇用形態 ア、フルタイム 年収

保育士としてフルタイムで働いている方の年収では、「200～300万円未満」が379人(52.3%)と最も多く、次いで「300～400万円未満」が226人(31.2%)、「100～200万円未満」が70人(9.7%)と続いている。



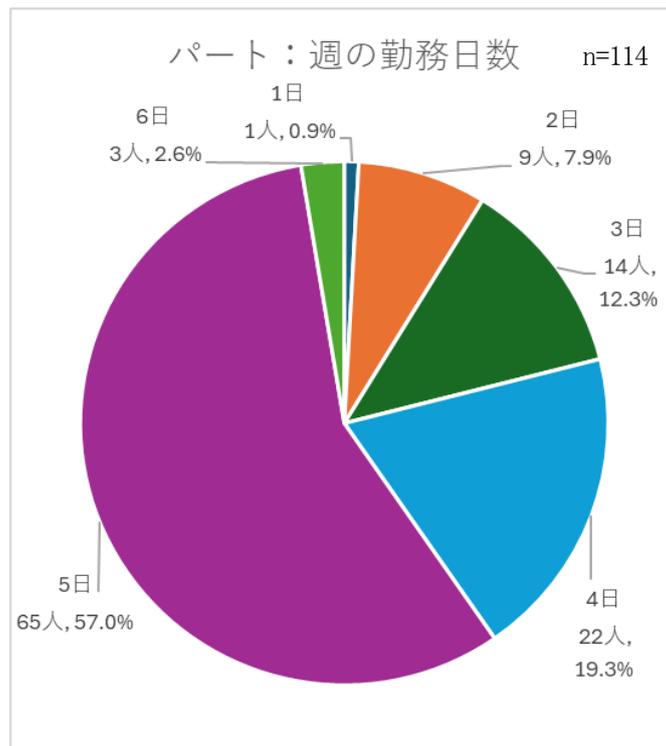
② 雇用形態 イ、パートタイム 1日当たりの勤務時間

保育士としてパートタイムで働いている方の1日当たりの勤務時間では、「8時間」が32人(28.1%)で最も多く、次いで「6時間」が30人(26.3%)、「5時間」が21人(18.4%)、「4時間」が19人(16.7%)であった。



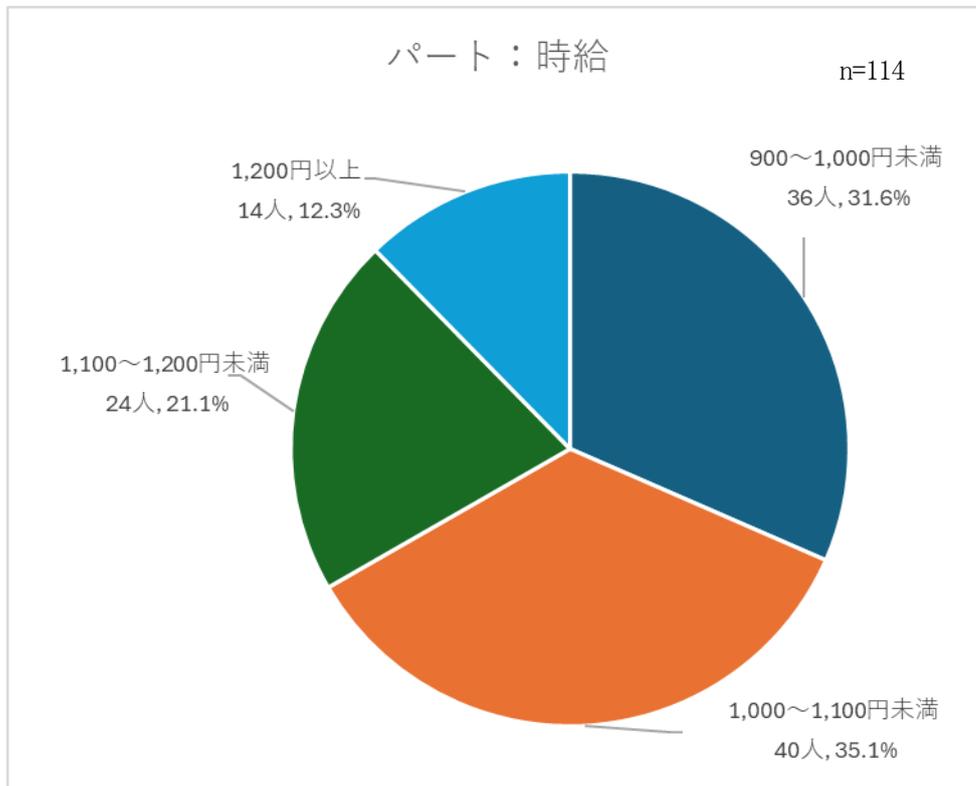
③ 雇用形態 イ、パートタイム 1週当たりの勤務日数

保育士としてパートタイムで働いている方の1週当たりの勤務日数では、「5日」が65人(57.0%)で半数を超え、次いで「4日」が22人(19.3%)、「3日」が14人(12.3%)であった。



④ 雇用形態 イ、パートタイム 時給

保育士としてパートタイムで働いている方の時給では、「1,000～1,100円未満」が40人(35.1%)で最も多く、次いで「900～1,000円未満」が36人(31.6%)、「1,100～1,200円未満」が24人(21.1%)、「1,200円以上」が14人(12.3%)であった。



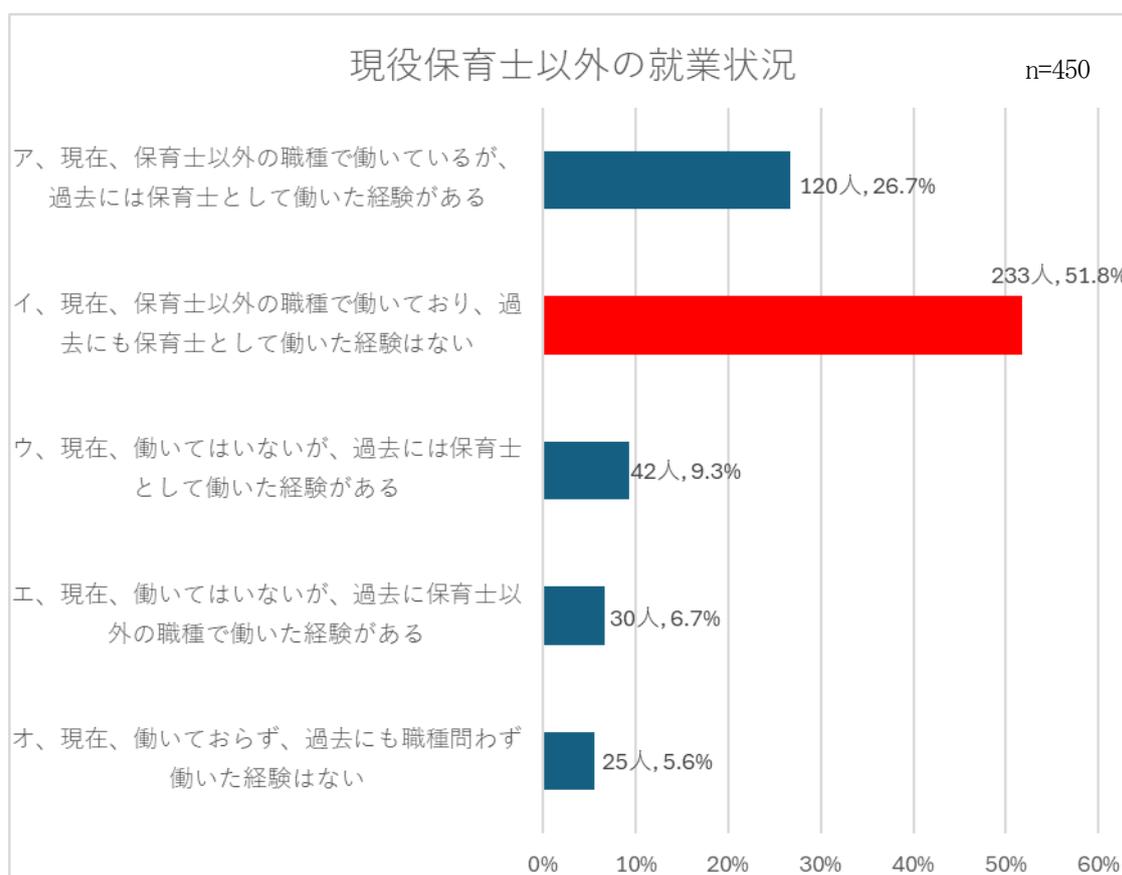
【以下、仕事に就いていない又は、保育士以外の仕事に就いている方への質問】

(回答対象者数 450 人)

問4 現在の就業状況、過去の就業状況を教えてください。

保育士として就業していない人のうち、「イ、現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない」が233人(51.8%)と最も多く、「エ、現在、働いてはいないが、過去に保育士以外の職種で働いた経験がある」の30人(6.7%)、「オ、現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない」の25人(5.6%)と合わせて、過去に保育士として働いたことがないと回答した人は288人(64.0%)であり、全回答者数比では22.4%となっている。

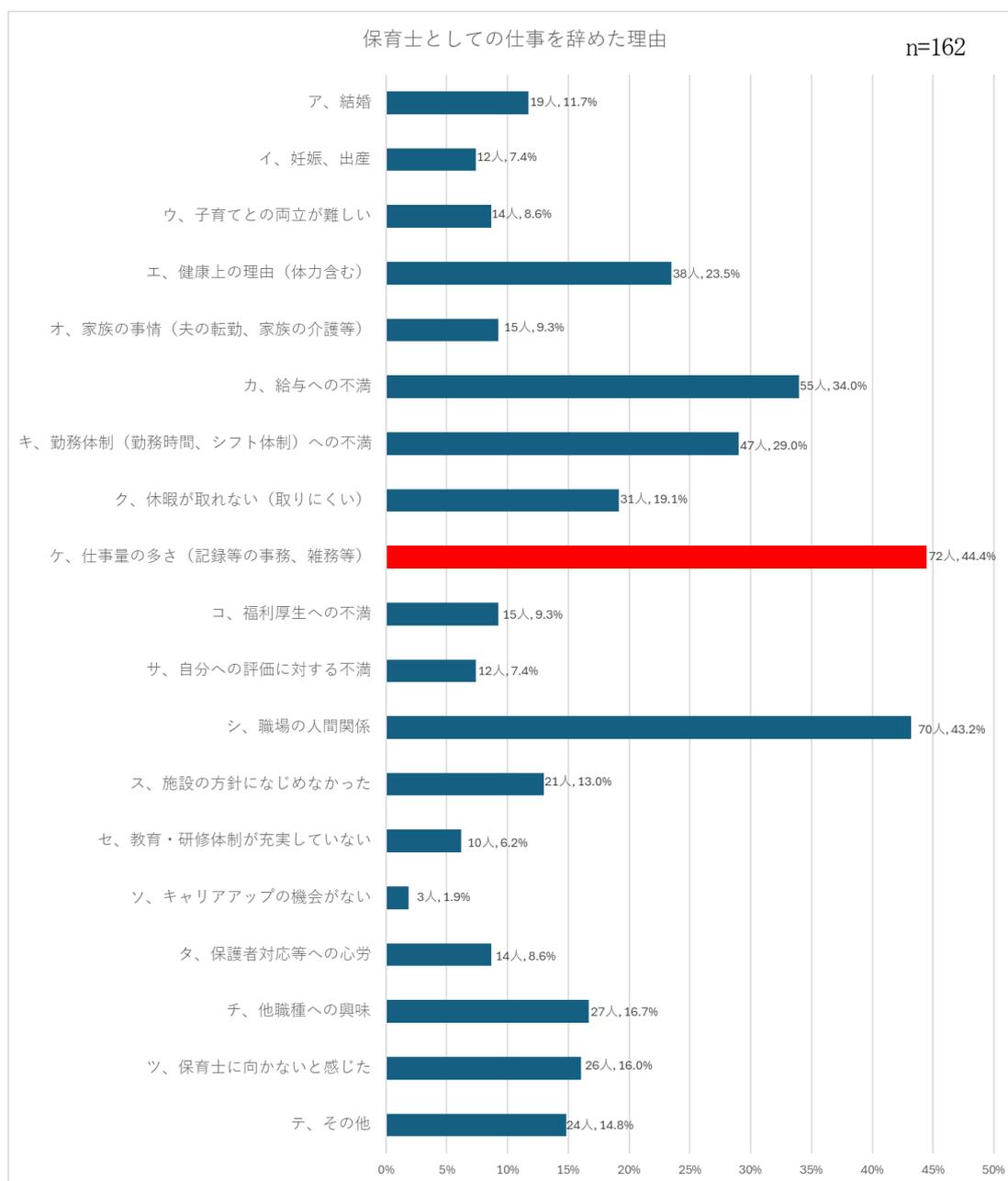
また、「ア、現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある」が120人(26.7%)、「ウ、現在、働いてはいないが、過去には保育士として働いた経験がある」が42人(9.3%)と、合わせて162人(36.0%)が保育士として働いた経験があると回答した。



問5 保育士（保育教諭を含む）としての仕事を辞めた理由としてあてはまるものは何ですか。

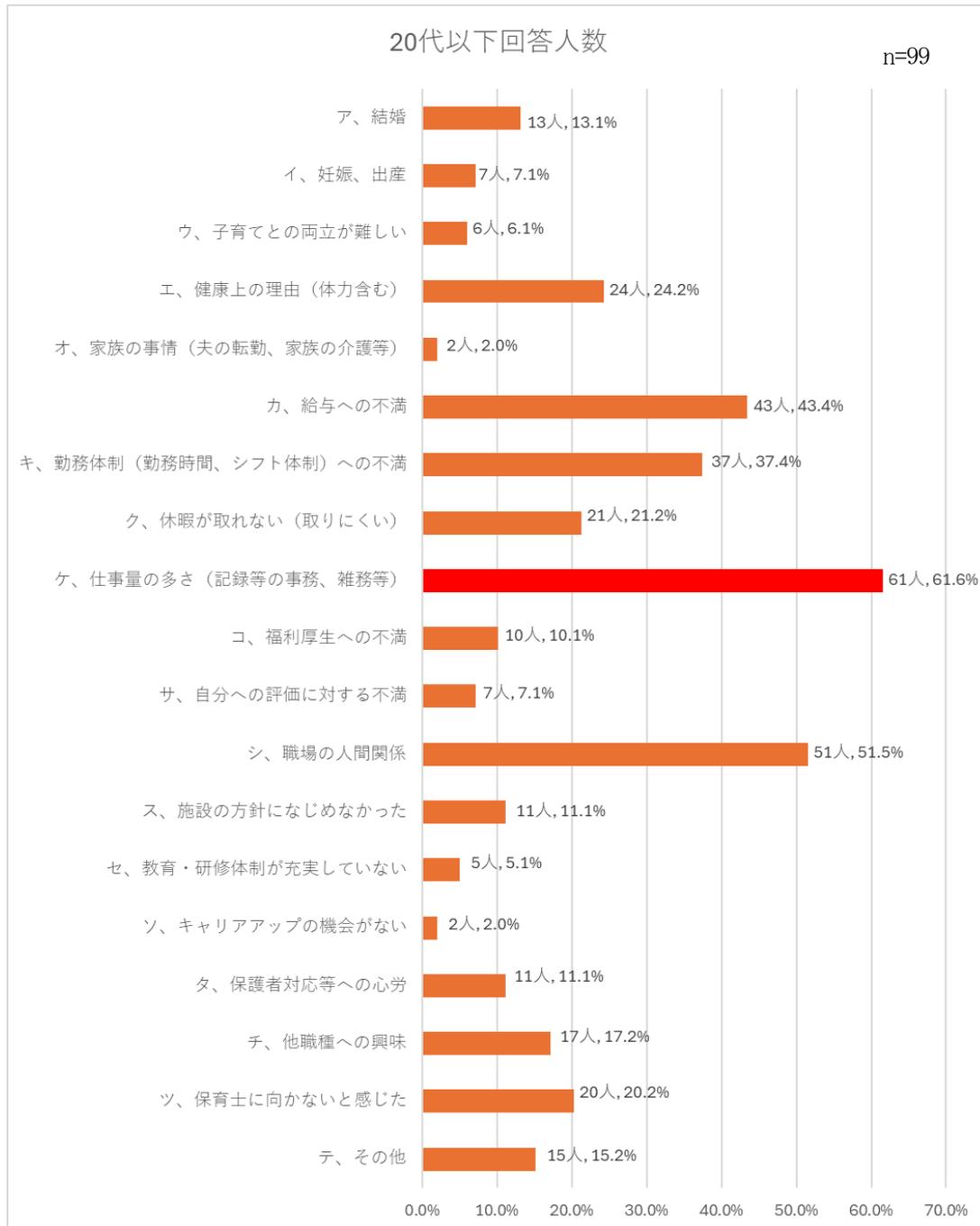
（問4でア、ウと答えた方、複数回答）

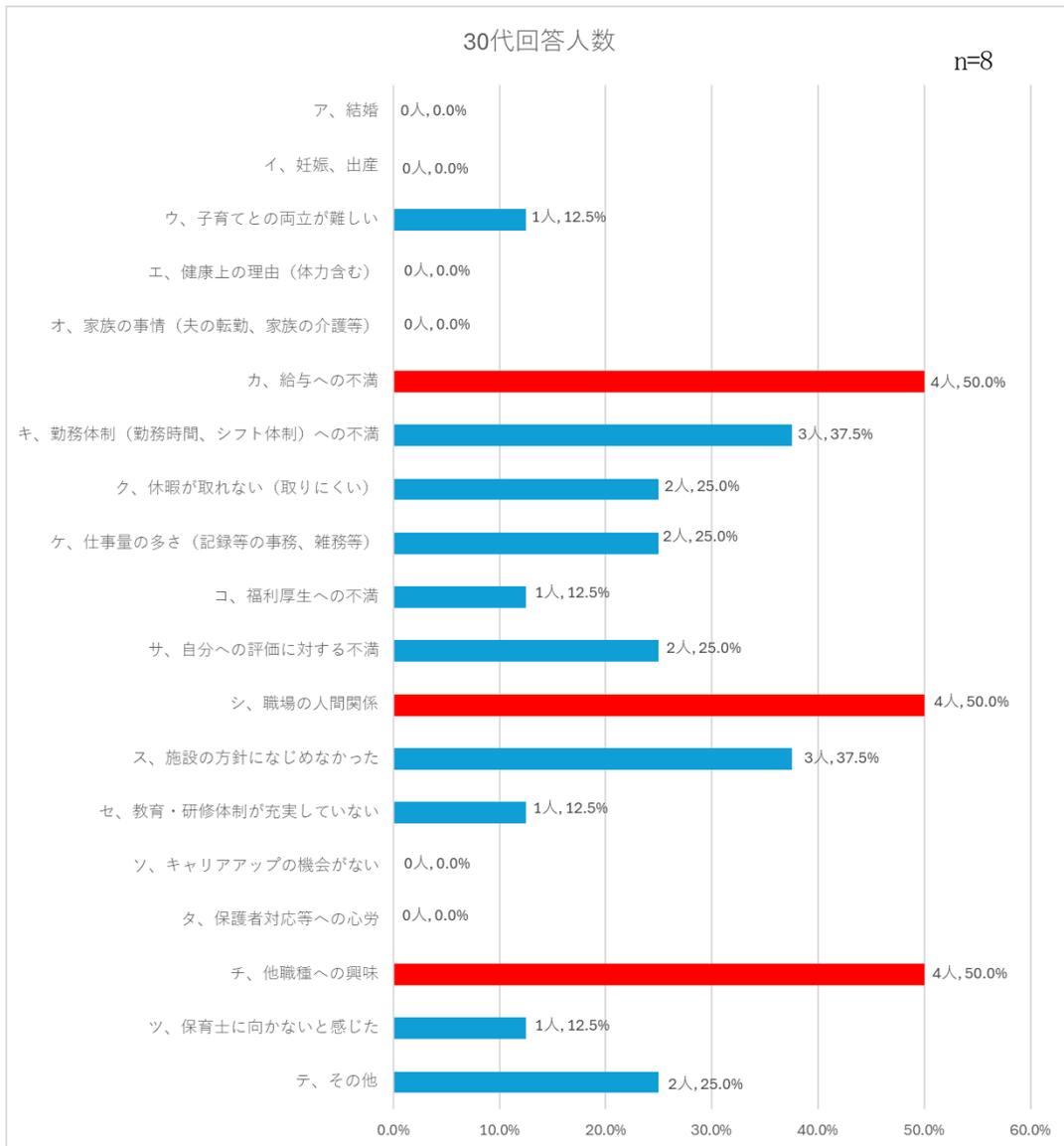
保育士としての仕事を辞めた理由では、問4「ア、ウ」の回答者162人中、72人（44.4%）が「ケ、仕事量の多さ（記録等の事務、雑務等）」と回答し最も多くなっており、次いで「シ、職場の人間関係」が70人（43.2%）とほぼ同数を占めている。そのほかでは、「カ、給与への不満」が55人（34.0%）、「キ、勤務体制（勤務時間、シフト体制）への不満」が47人（29.0%）であった。



【年代別】

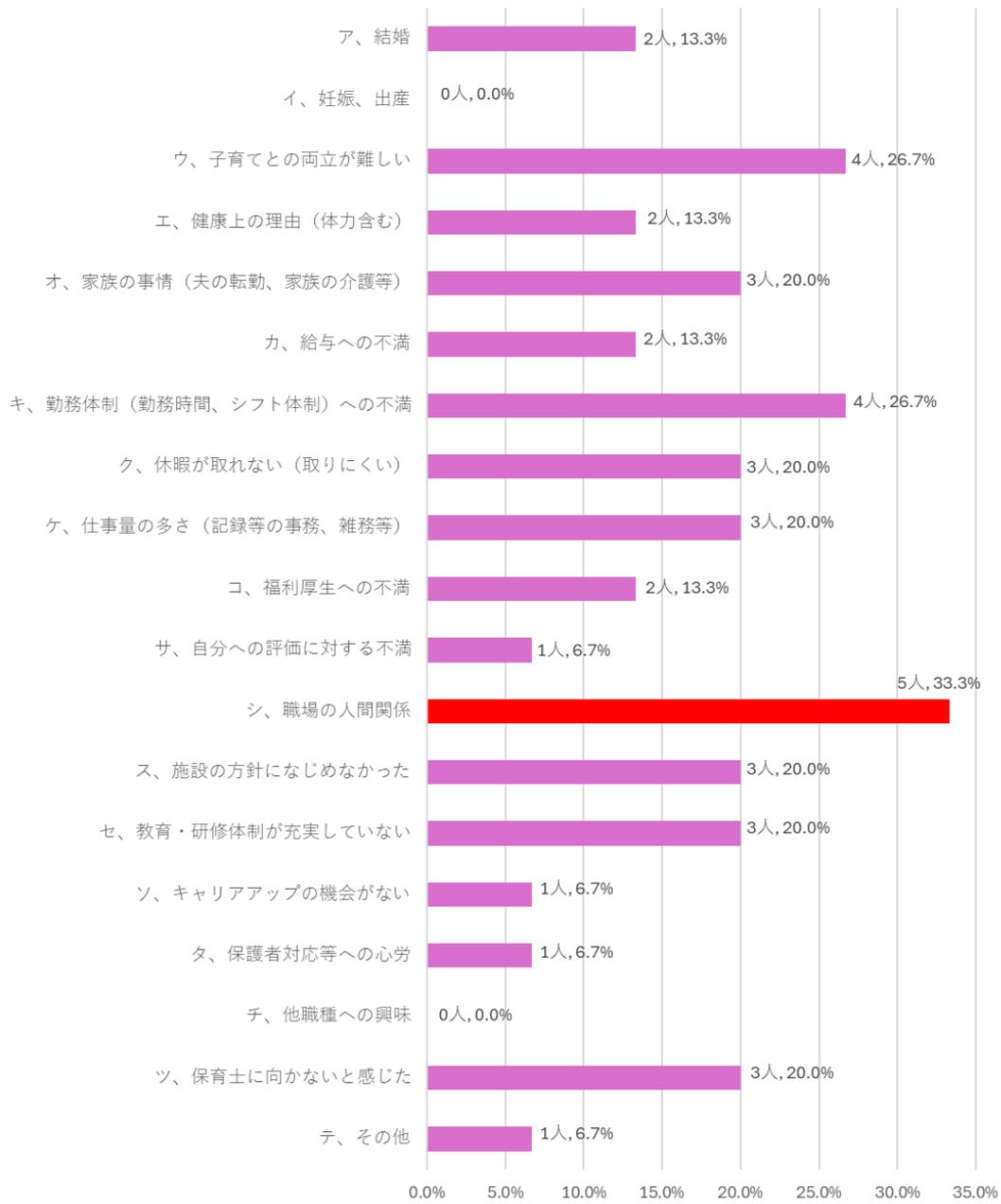
年代別にみると、20代以下では「ケ、仕事量の多さ（記録等の事務、雑務等）」が最も多く、次いで「シ、職場の人間関係」、30代では「カ、給与への不満」、「シ、職場の人間関係」、「チ、他職種への興味」、40代では「シ、職場の人間関係」、「ウ、子育ての両立が難しい」、50代では「シ、職場の人間関係」、「エ、健康上の理由（体力を含む）」、60歳代では「オ、家族の事情（夫の転勤、家族の介護等）」、「エ、健康上の理由（体力を含む）」が高くなっている。

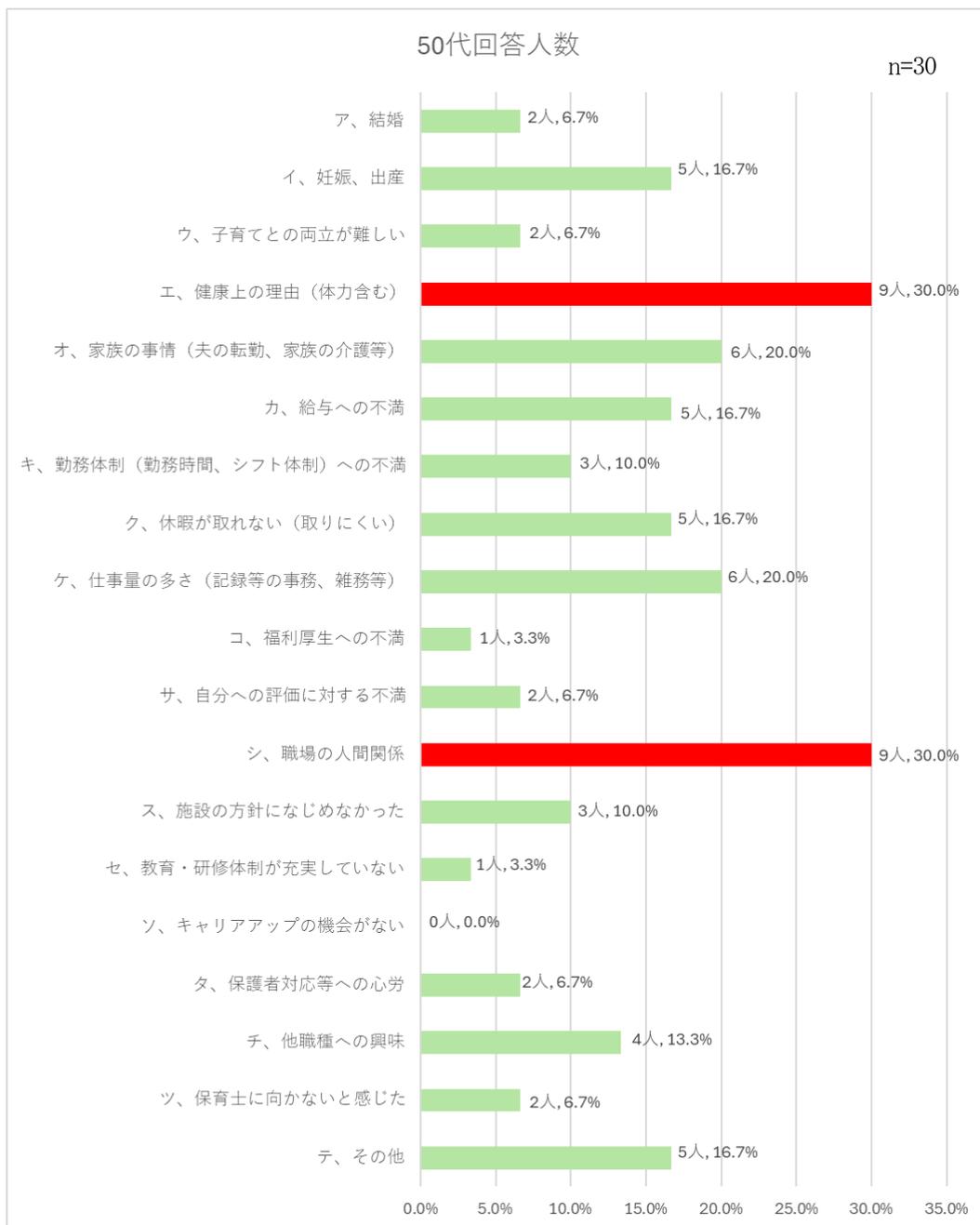




40代回答人数

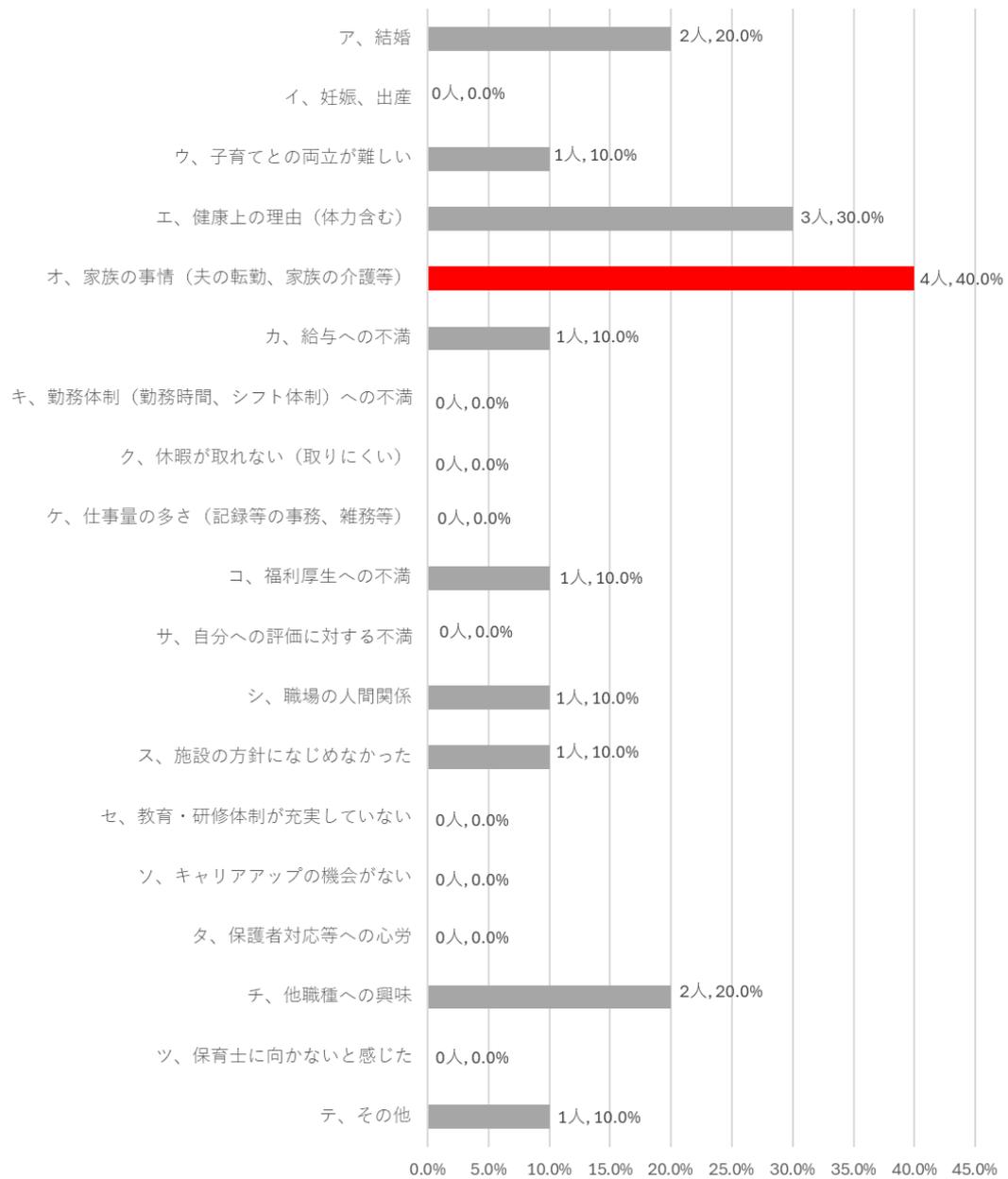
n=15





60代以上回答人数

n=10

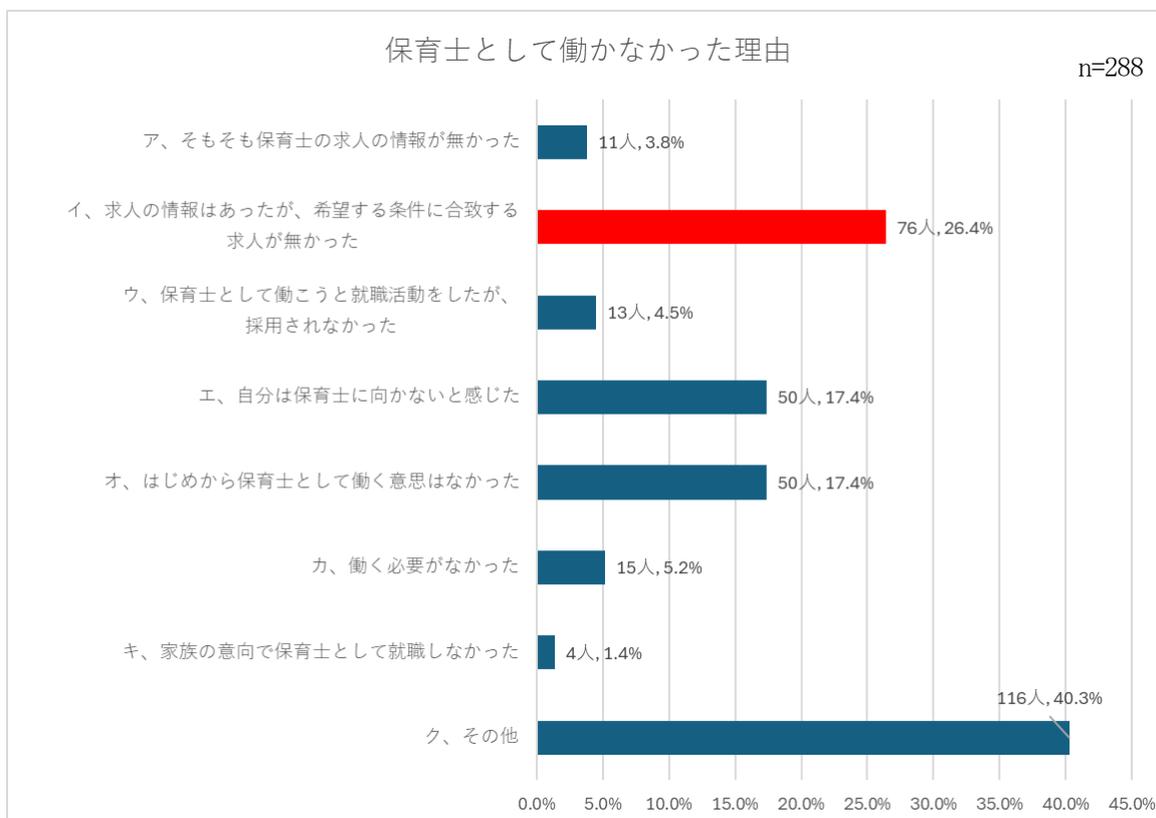


問6 これまで保育士として働かなかった理由は何ですか。

(問4でイ、エ、オと答えた方(保育士としての仕事経験のない人)、複数回答)

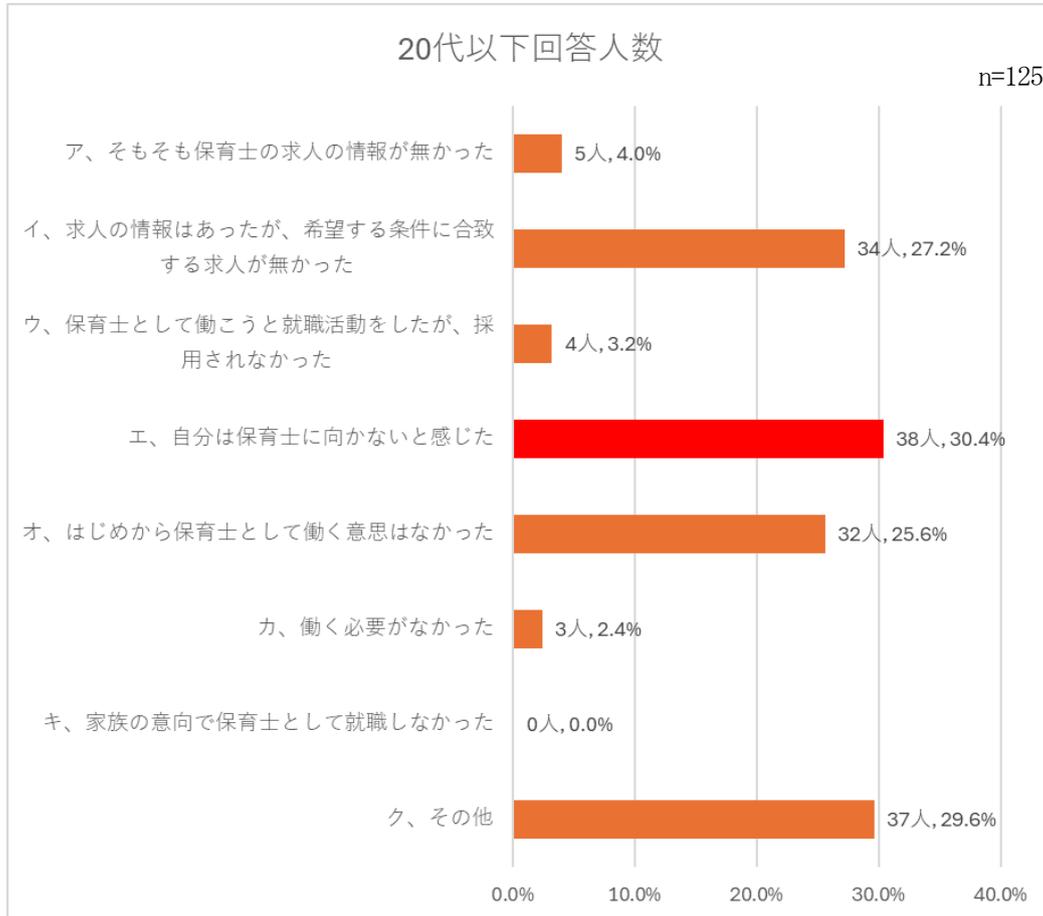
これまで保育士として働かなかった理由では、問4で「イ、エ、オ」の回答者288人中、「イ、求人の情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」が76人(26.4%)で最も多く、「エ、自分は保育士に向かないと感じた」、「オ、はじめから保育士として働く意思はなかった」が50人(17.4%)で同数であった。

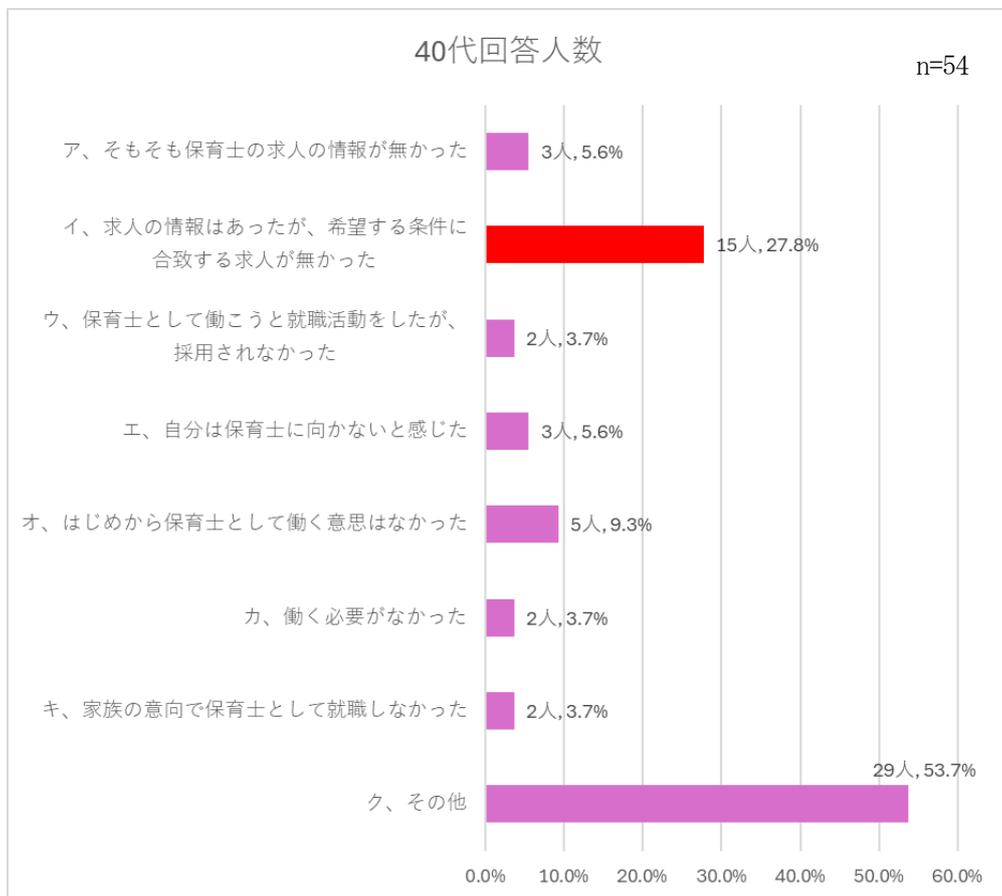
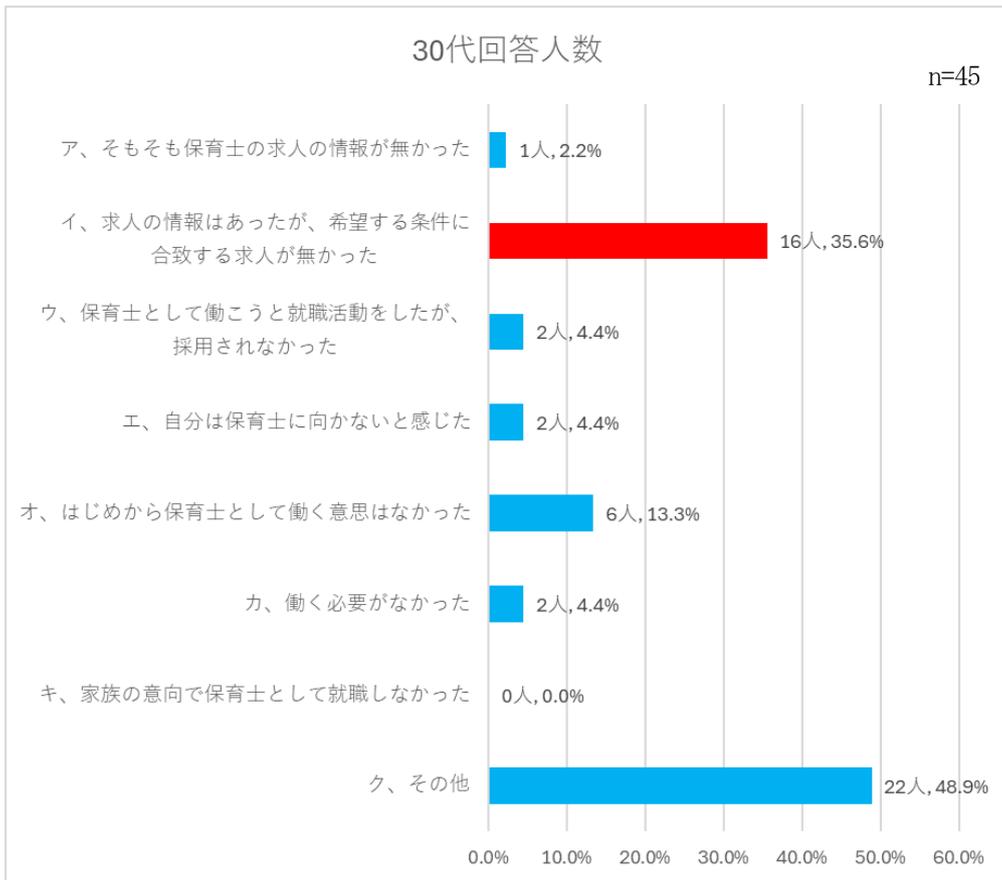
「ク、その他」の理由では、幼稚園での勤務(希望を含む)(34人)をあげる回答が多かった。

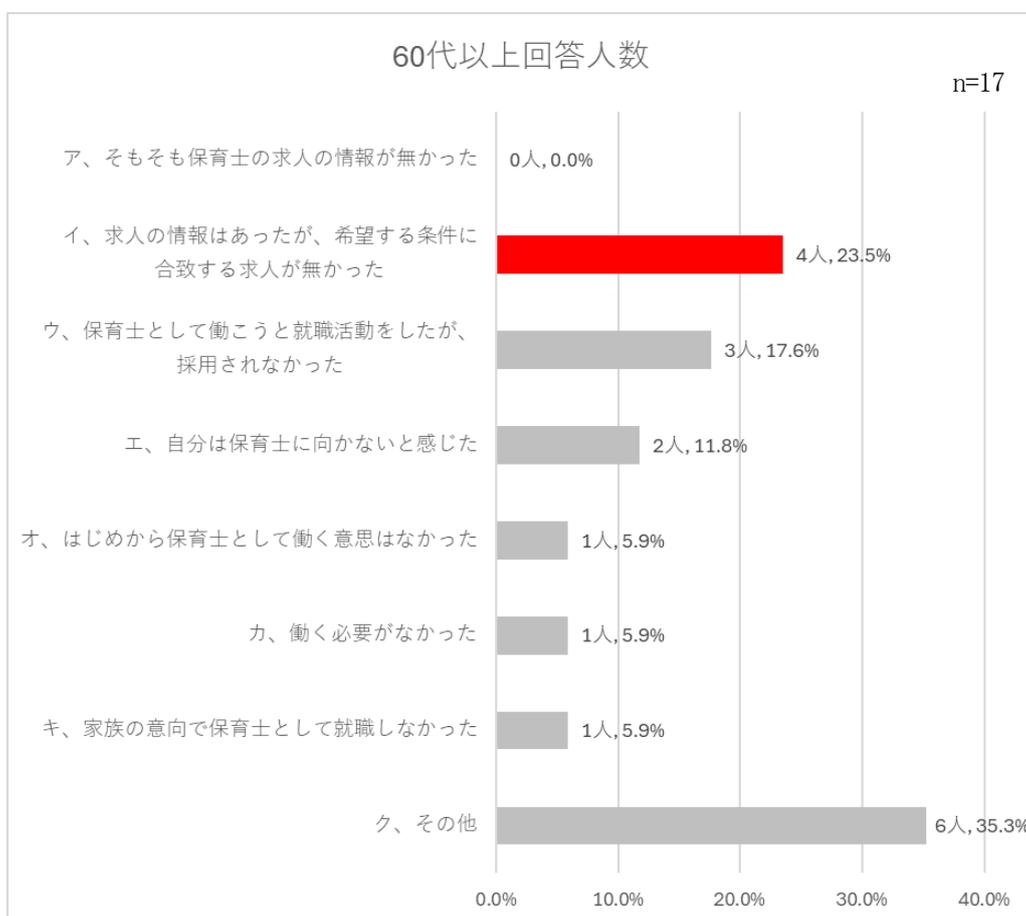
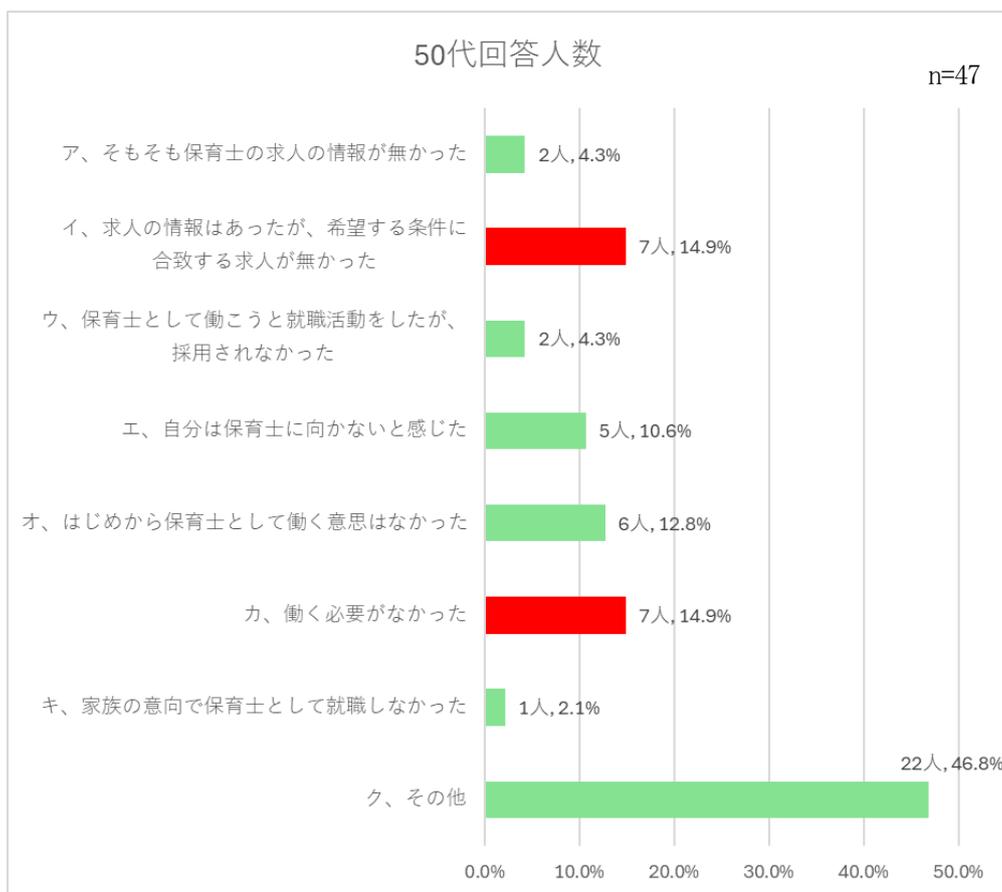


【年代別】

年代別にみると、20代以下では「エ、自分は保育士に向かないと感じた」、「イ、求人の情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」、「オ、はじめから保育士として働く意思はなかった」が多く、30代、40代では、「イ、求人の情報はあったが、希望する条件に合致する求人が無かった」の割合が高くなっている。

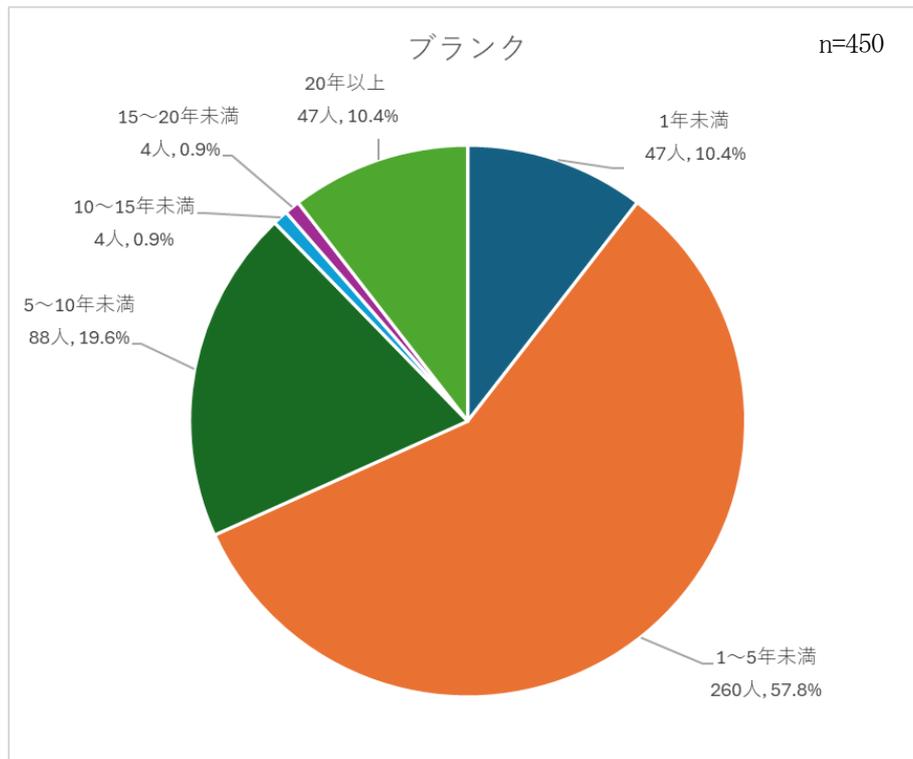






問7 保育士として仕事をしていない期間（いわゆるブランク）は何年ぐらいになりますか。

保育士として仕事をしていない期間では、「5年未満」が260人（57.8%）で最も多く、「5～10年未満」が88人（19.6%）、「20年以上」が47人（10.4%）であった。



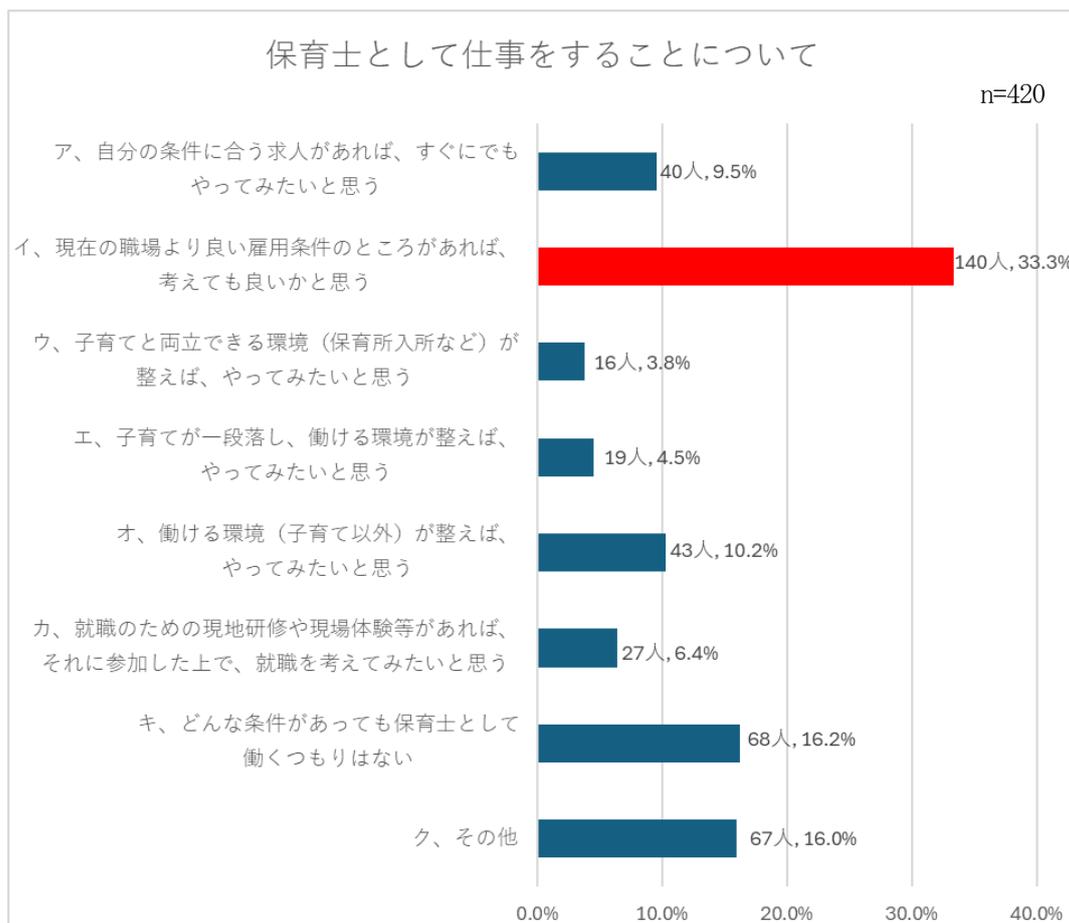
問8 保育士として仕事をする事についてのあなたのお気持ちについてお聞かせください。

(無回答を除く)

保育士として仕事をする事についての気持ちについては、「イ、現在の職場より良い雇用条件のところがあれば、考えても良いかと思う」が140人(33.3%)と最も多く、次いで「キ、どんな条件があっても保育士として働くつもりはない」が68人(16.2%)、「オ、働ける環境(子育て以外)を整えれば、やってみたいと思う」が43人(10.2%)であった。

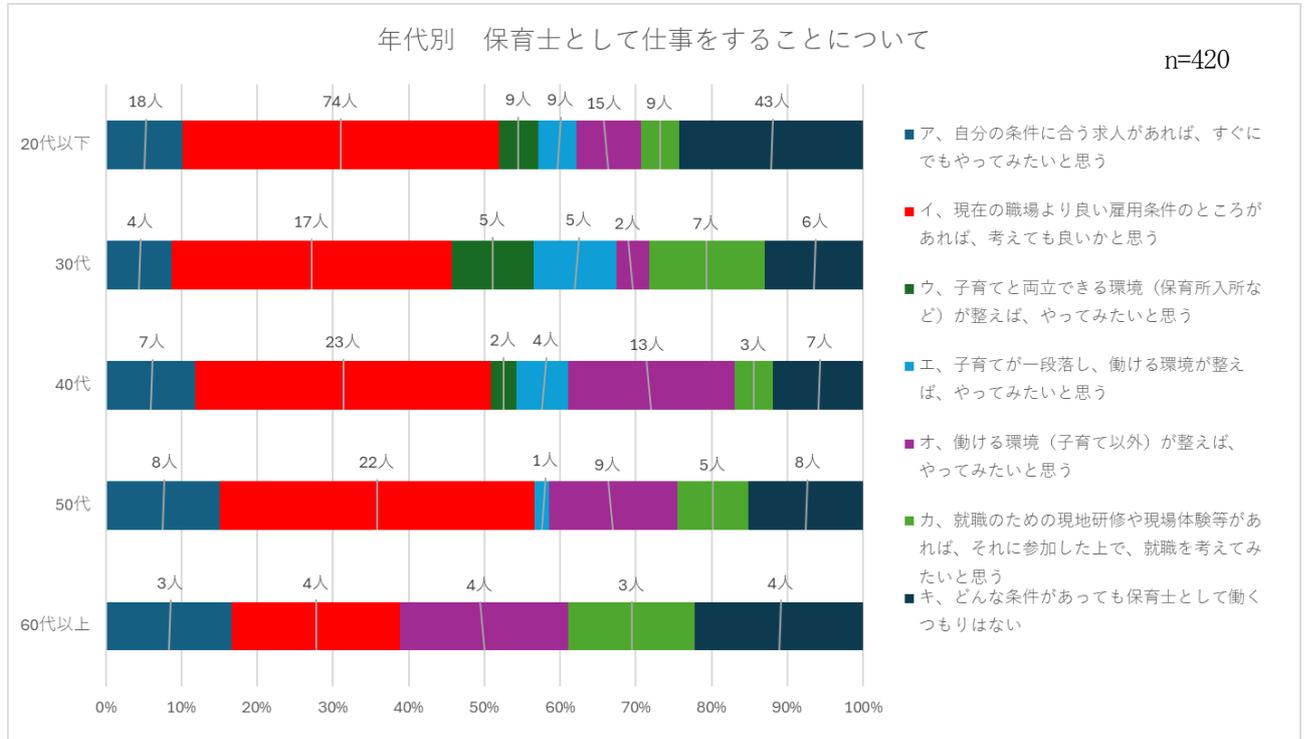
「その他」としては、保育士として働いてみたい気持ちはあるが、給与や職場環境、保育の業務に不安を感じる等の意見が見られた。

また、「キ、どんな条件があっても保育士として働くつもりはない」と回答した人の理由としては、保育の責任の重さ等の意見が見られた。



【年代別】

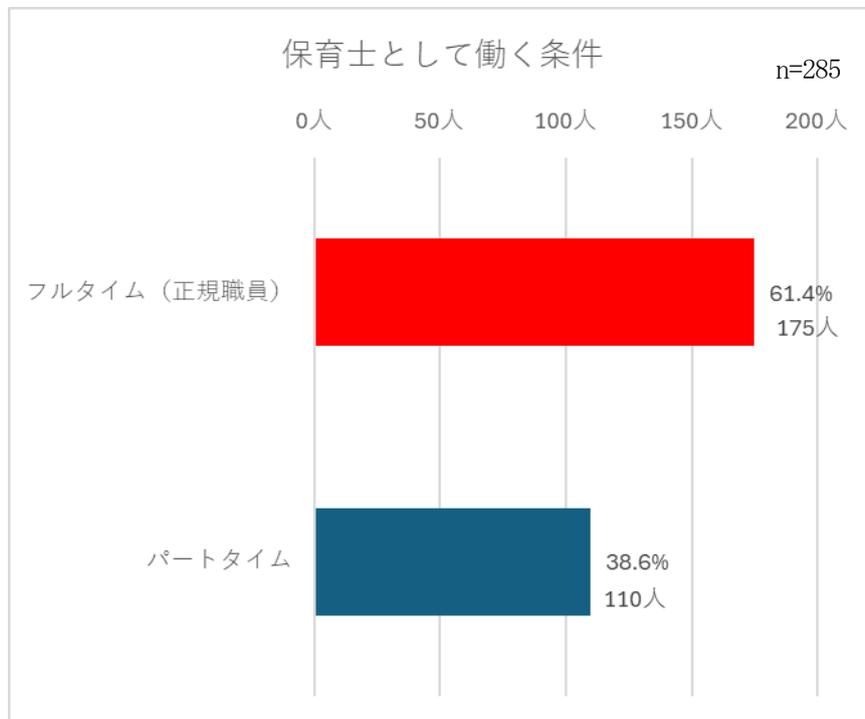
全年代で「現在の職場より良い雇用条件のところがあれば、考えても良いかと思う」と回答した割合が一番高く、次いで、同様に全年代で「どんな条件があっても保育士として働くつもりはない」となっている。



問9 あなたが今後保育士として働く場合に求める条件について教えてください。
 (無回答を除く 285 人)

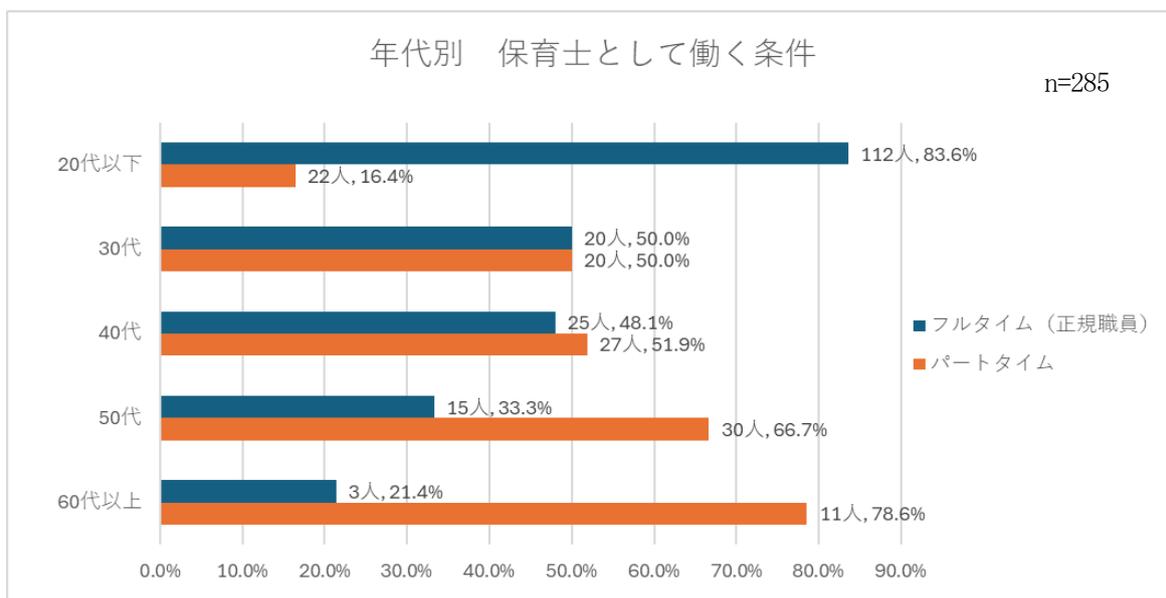
【雇用形態】

今後保育士として働く場合の雇用形態では、「フルタイム」が 175 人 (61.4%)、「パートタイム」が 110 人 (38.6%) であった。



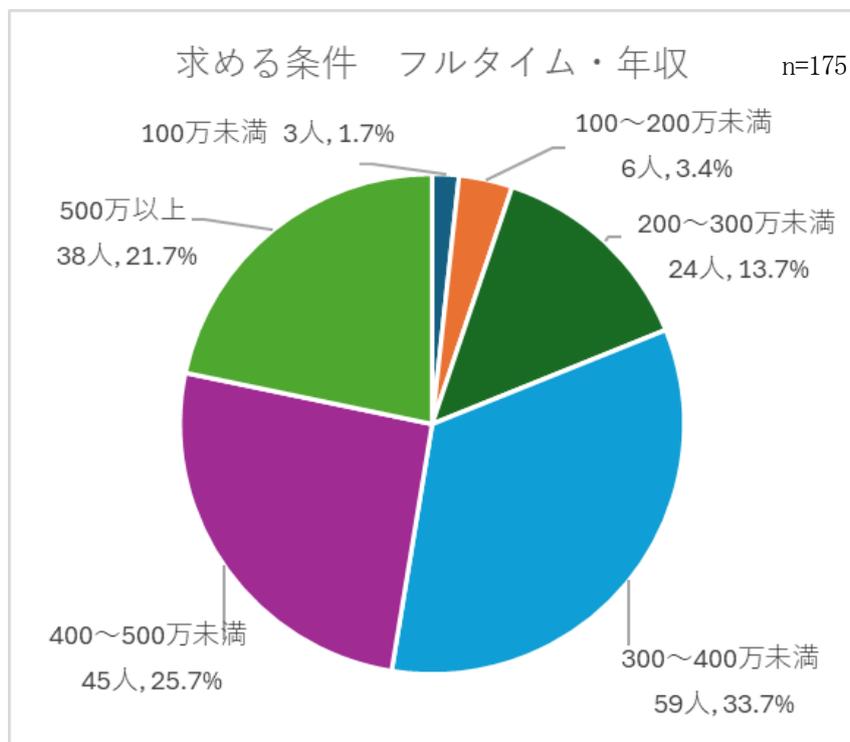
【雇用形態】(年代別)

今後保育士として働く場合の雇用形態の年代別集計では、20代で回答者 134 人 (無回答除く) 中 112 人 (83.6%) と「フルタイム」の割合が高いが、30代以上では、「パートタイム」の割合が高くなっている。



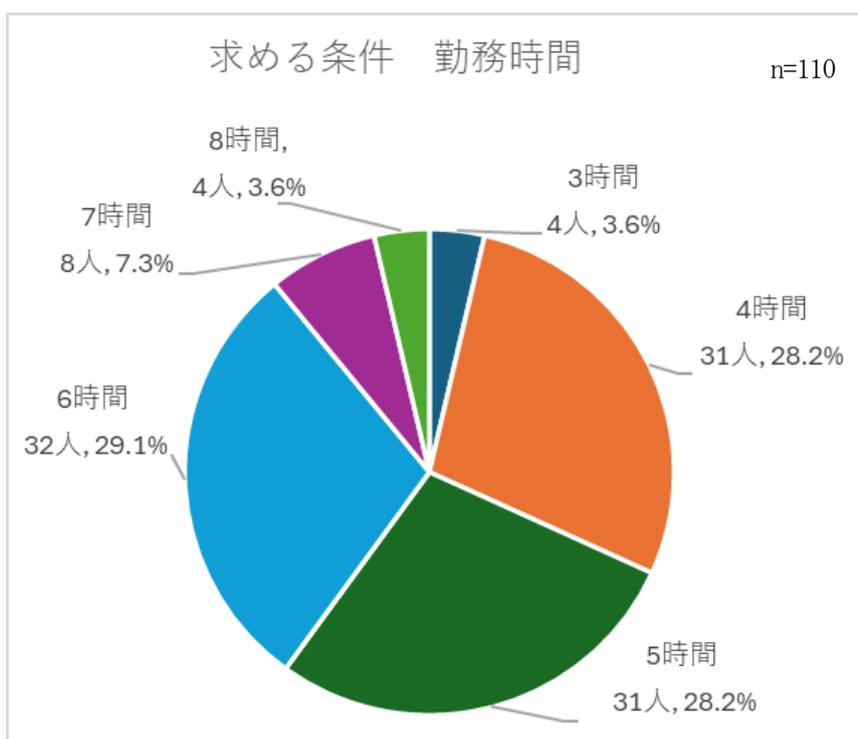
① 雇用形態 ア、フルタイム 年収

フルタイムと回答した人が希望する年収は、「300～400万円未満」が59人（33.7%）で最も多く、「400～500万円未満」が45人（25.7%）、「500万円以上」が38人（21.7%）であった。



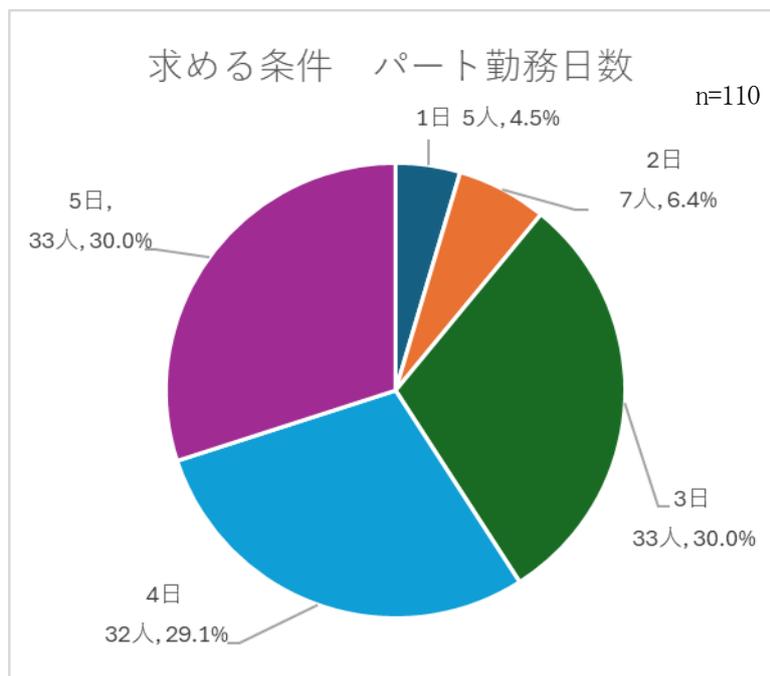
② 雇用形態 イ、パートタイム 1日あたりの勤務時間

パートタイムと回答した人が希望する1日の勤務時間は、「6時間」が32人（29.1%）、「4時間」が31人（28.2%）とほぼ同数であった。



③ 雇用形態 イ、パートタイム 週当たりの勤務日数

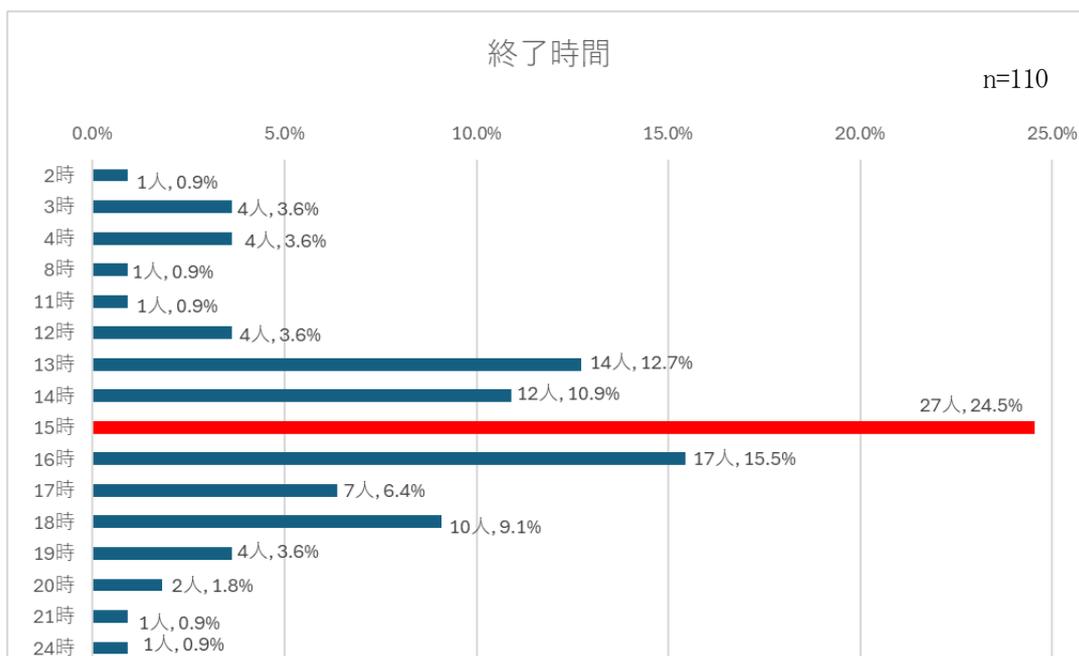
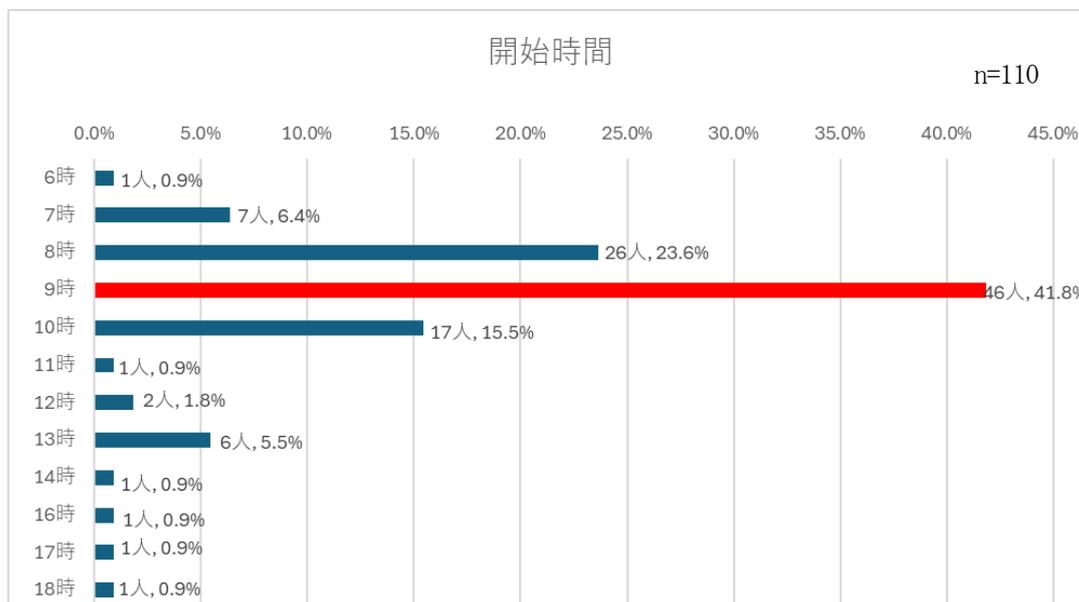
パートタイムと回答した人が希望する週当たりの勤務日数は、「3日」「5日」が33人(30.0%)、「4日」が32人(29.1%)とほぼ同数であった。



④ 雇用形態 イ、パートタイム 時間帯

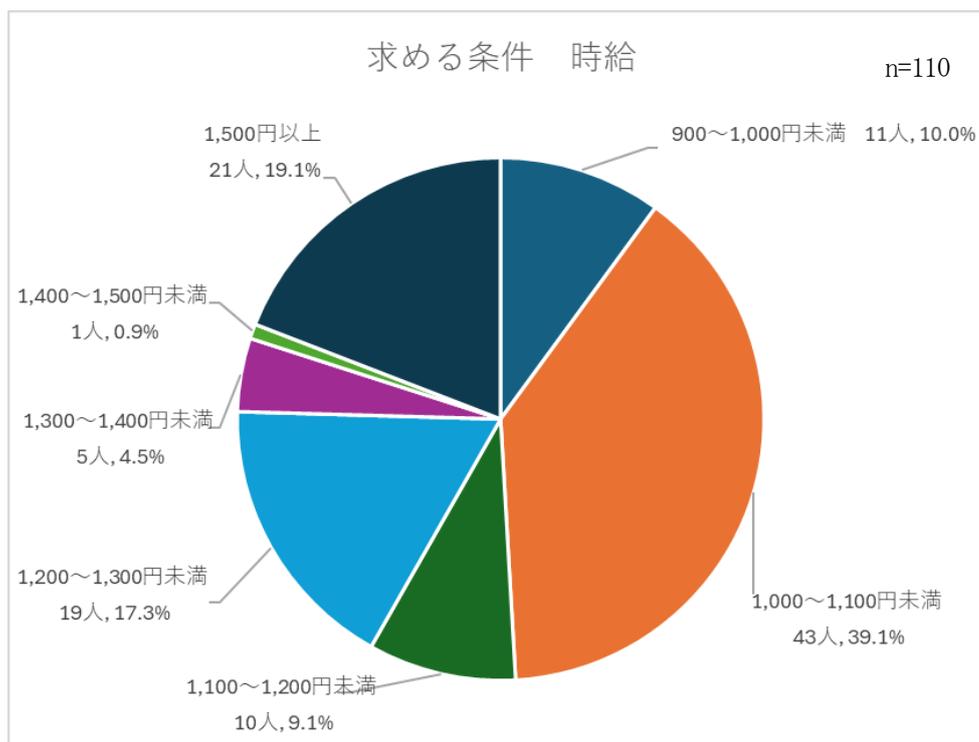
パートタイムと回答した人が希望する時間帯は、開始時間では「9時」が46人(41.8%)と最も多く、次いで「8時」が26人(23.6%)、「10時」が17人(15.5%)であった。

終了時間では「15時」が27人(24.5%)と最も多く、次いで「16時」が17人(15.5%)であった。



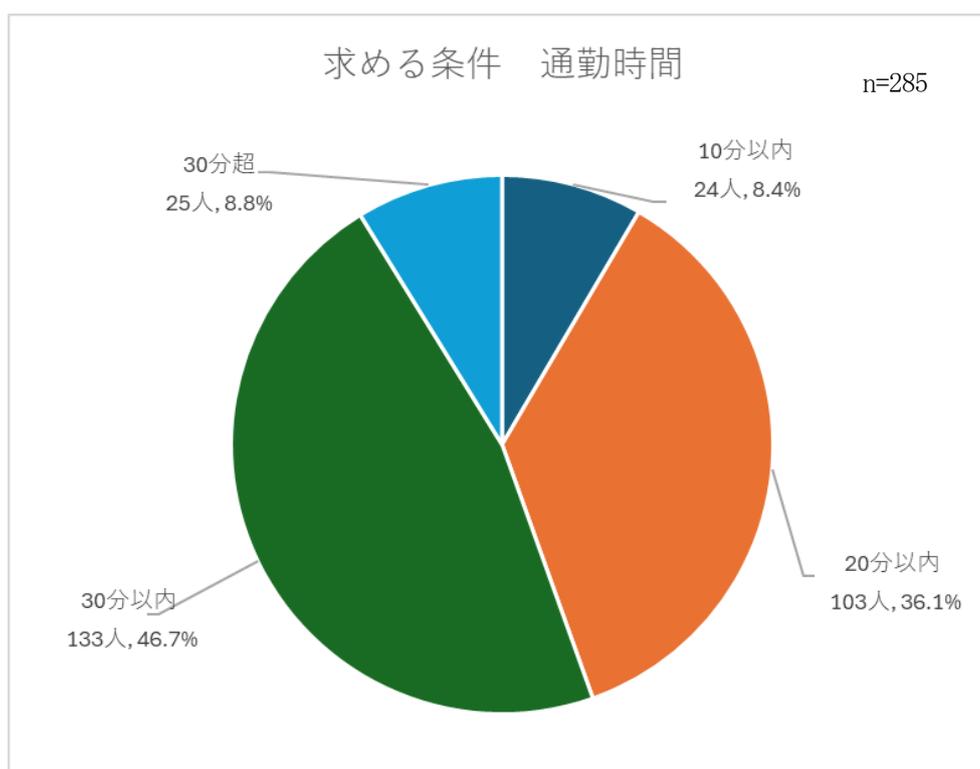
⑤ 雇用形態 イ、パートタイム 時給

パートタイムと回答した人が希望する時給では、「1,000～1,100円未満」が43人(39.1%)と最も多く、次いで「1,500円以上」が21人(19.1%)であった。



⑥ 通勤時間

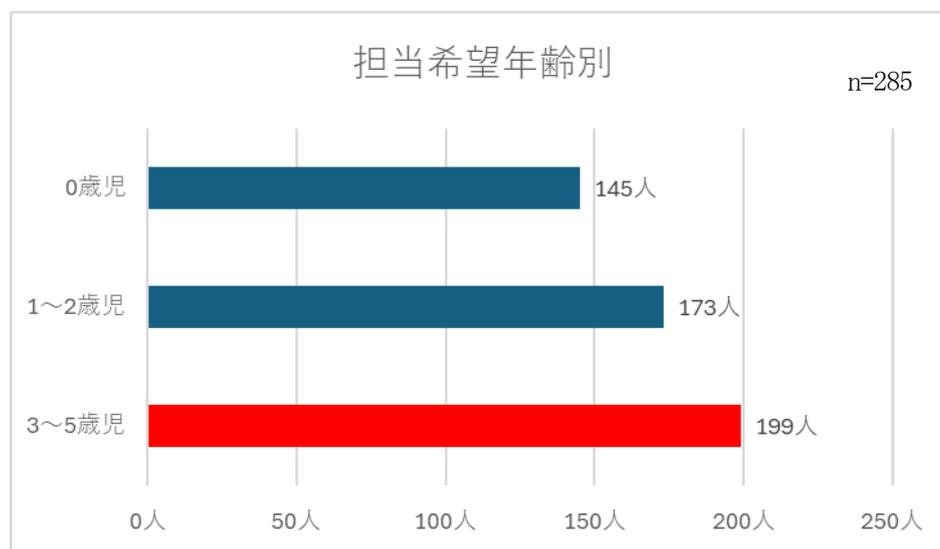
今後保育士として働く場合の通勤時間では、「30分以内」が133人(46.7%)で最も多く、次いで「20分以内」が103人(36.1%)で、合わせて80%を超える比率であった。



⑦ 担当を希望する児童の年齢（複数回答）

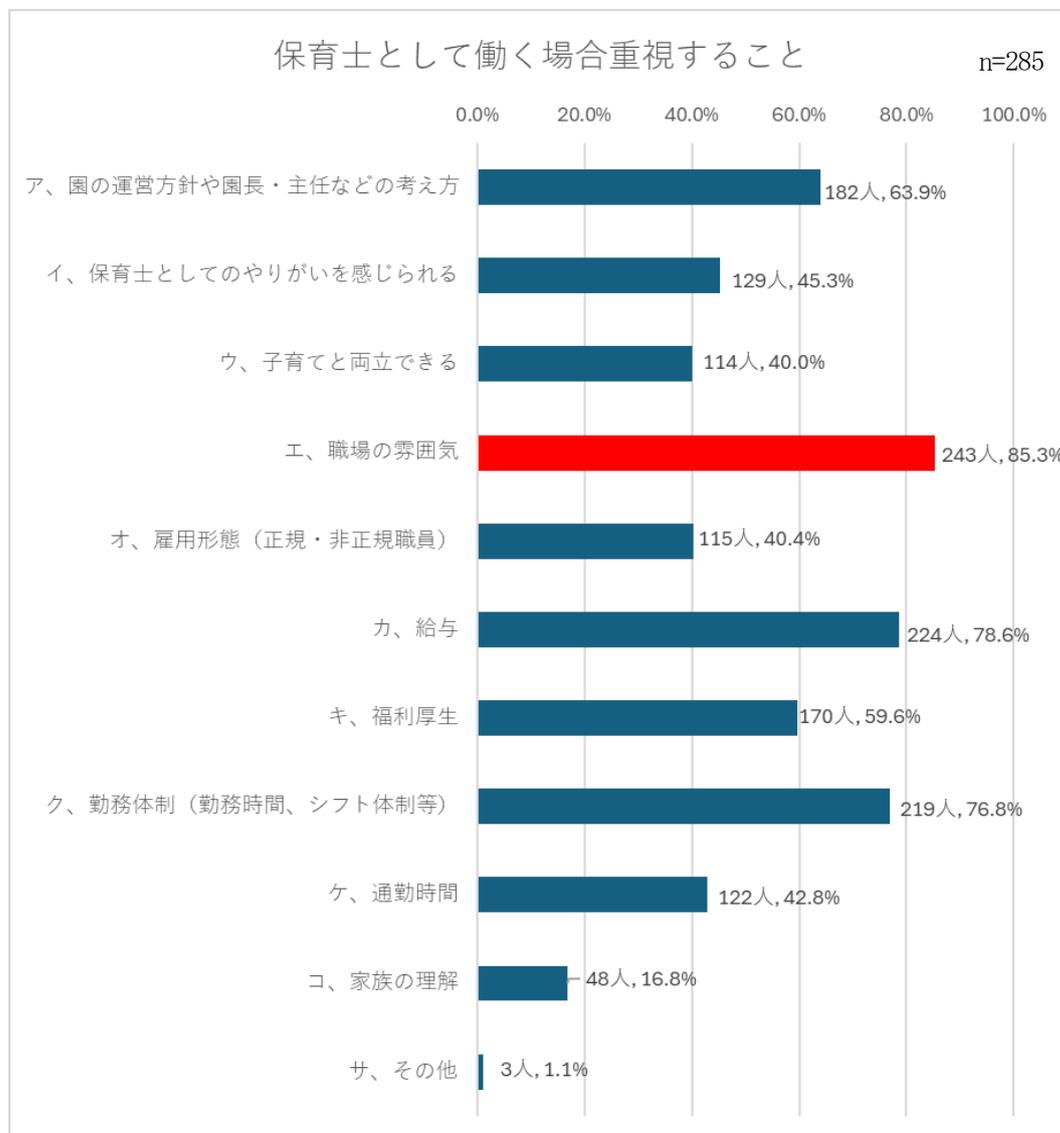
今後保育士として働く場合の担当を希望する児童の年齢では、「3～5歳児」が199人（69.8%）、「1～2歳児」が173人（60.1%）、「0歳児」が145人（50.9%）と大きな差異はないが、年齢が上の児童の担当を希望する比率が高かった。

また、全年齢を選択した人は84人（29.5%）であった。



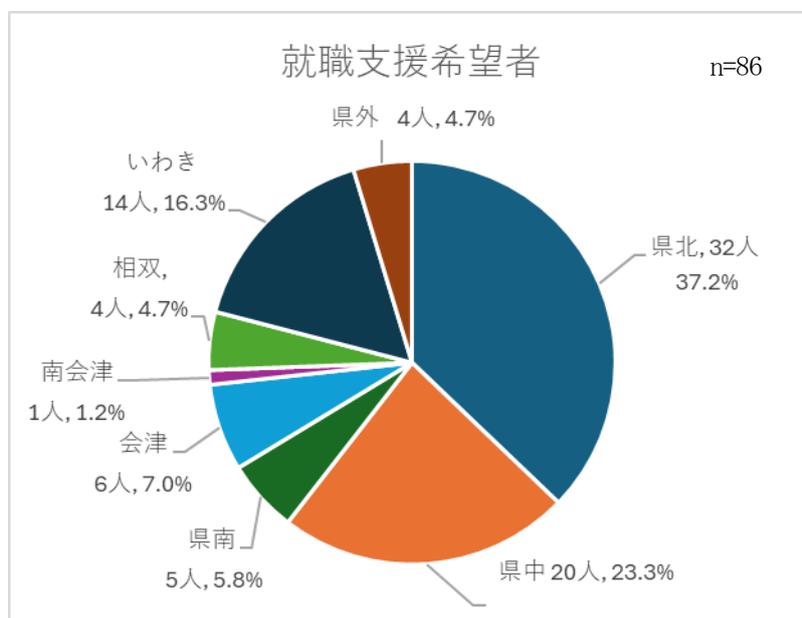
⑧ その他、就職先を選ぶ上で重視することは何ですか。(複数回答)

その他、就職先を選ぶ上で重視することは、「エ、職場の雰囲気」が243人(85.3%)、「カ、給与」が224人(78.6%)、「ク、勤務体制(勤務時間、シフト体制等)」が219人(76.8%)と7割以上の人を選択し、また、「ア、園の運営方針や園長・主任などの考え方」が182人(63.9%)、「キ、福利厚生」が170人(59.6%)と半数を超える人が選択している。



問10 福島県保育士・保育所支援センターからの就職支援や情報提供（就職説明会、再就職支援セミナー等の開催案内など）の希望者

今後、福島県保育士・保育所支援センターからの就職支援や情報提供を受けたいと回答した人は86人であった。内訳は福島県内82人、福島県外4人であった。



問11 「保育士として働くことへの不安」、「働くために支援が必要だと感じていること」
主な意見（要旨）

「保育士として働くことへの不安」

○業務量、労働時間、休暇、子育てや介護との両立

- ・慢性に人手が不足し、一人当たりの負担が大きい。
- ・持ち帰りや残業
- ・子どもが預けられる時間が長すぎる。
- ・書類が多い。
- ・職場で不適切保育があった時の対処方法
- ・保護者の対応の不安
- ・年齢をかさねると体力的に不安。子どもの相手をする体力不安
- ・ブランクがある。
- ・人が足りないため資格を持った人員確保をしてほしい。
- ・国が定める子どもと保育士の定数では、質の高い保育をしていくことが困難
- ・職場の人間関係が不安
- ・家事との両立が出来るか不安
- ・急な休みが可能か。
- ・早番、遅番できない。
- ・配偶者の働き方に合わせた勤務時間を希望できる。

○給与・賞与

- ・仕事（大切な命を預かっている、保護者の要望が多い等）の対価として給料が安すぎる。
- ・保育士自身に対する支援が薄すぎる。
- ・何年働いても給料がほとんど増えていかない。

○正規職員・非正規職員

- ・パートでも正職員と同等の業務を求められる。

○研修・人材育成

- ・保育士試験で取得した資格なので、実際に仕事としてやっていけるのか心配

「働くために支援が必要だと感じていること」

○業務量、労働時間、休暇、子育てや介護との両立

- ・一日単位の求人があればブランクがあっても働きやすく、さまざまな園を経験することができる。また、常勤保育士にとっても体調を崩した時の安心感や人手が足りない時の負担減につながる。
- ・子育てと両立しやすいシフトの導入
- ・共働きしながら子育て出来る支援や協力体制の構築
- ・余裕をもった人員配置
- ・保育だけに特化した保育士を派遣または、フリーランスで働けるよう制度

○職場の人間関係

- ・不利益を自身が受けた場合や見た場合に相談する部署、社会保険労務士の配置

「必要な支援」

○研修・人材育成

- ・試験合格者だけの研修
- ・研修制度の充実さ
- ・ブランクがある人向けの研修
- ・体験実習、現職の先生方と質疑応答できるといい。
- ・働き方や困り事を気軽に相談できる窓口の開設
- ・保育士資格が活用できる保育園以外の就労施設の案内

令和6年度 「福島県保育士アンケート調査」

福島県に保育士登録されている皆様へ

福島県からのお願い

秋涼の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

福島県では、保育士の皆さんが安心して働き続けられる環境を整備するとともに、何らかの理由で今は働いていない保育士資格をお持ちの方の就労を支援するなどの取組みが、保育所待機児童の解消や今後も増大が見込まれる多様な保育ニーズへ対応するために必要と考えております。

そこで、このたび、平成29年度以降に福島県に保育士登録された約 5,000 人の方を対象に、就労の状況を調査するとともに、現在、保育士として就労されていない方に対するアンケート調査を実施することといたしました。

お忙しいとは存じますが、趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願いいたします。

福島県子育て支援課長

《回答方法》

○回答は、次の方法によりスマートフォンまたはパソコンからお願いいたします。



スマートフォンからは
右の QR コードを
読み込んでください。



パソコンからは、検索画面で下記の
アドレスを入力してください。

<https://form.run/@f-kosodatechien>

○設問数は、保育士として就業されている方が3問、就業されていない方が7～8問です。

○回答は無記名ですが、福島県保育士・保育所支援センターからの情報等提供を希望される方は「問10」で氏名等を御記入ください。記入いただいた個人情報、福島県保育士・保育所支援センターからの情報提供以外の目的で使用することはありません。

福島県保育士・保育所支援センター

<https://f-hhc.com/>



センターの情報を
ご覧いただけます。

○調査は、**令和6年10月31日（木）**までに、回答をお願いいたします。

○御多忙の折とは存じますが、調査の趣旨を御理解いただき、調査票の回答に御協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

《お問い合わせ先》

福島県子育て支援課 保育士アンケート担当

電話／024-521-8205 電話の受付時間／9：00～17：00

メール：kosodate@pref.fukushima.lg.jp

アンケート調査票

問1 基本属性

- 性別（男・女・無回答）
- 年齢 満（ ）歳 ※令和6年4月1日現在で記入
- 子どもの有無（有・無） 子どもの数（ ）人、末子の年齢 満（ ）歳
- 居住市町村 福島県内（市町村名 ）
福島県外（都道府県名 ）
- 資格取得方法
 - ア、保育士養成校を卒業
 - イ、保育士試験合格
 - ウ、その他（ ）

問2 現在の就業状況を教えてください。（○は1つ）

- ア、保育士（保育教諭含む。以下同じ）として働いている（問3へ）
- イ、幼稚園教諭として働いている（問4へ）
- ウ、現在、仕事に就いていない又は、保育士以外の仕事に就いている（問4へ）

問3（現在、保育士として働いている方のみ、問2でアと答えた方）

- 雇用形態 ア、フルタイム（正規職員）年収（ ）万円
 - イ、パートタイム 1日（ ）時間程度、週（ ）日 時給（ ）円
- 「問11へ」

問4（現在、仕事に就いていない又は、保育士以外の仕事に就いている方のみ）

問2でイ又はウと答えた方）現在の就業状況、過去の就業状況を教えてください。

- ア、現在、保育士以外の職種で働いているが、過去には保育士として働いた経験がある（問5へ）
- イ、現在、保育士以外の職種で働いており、過去にも保育士として働いた経験はない（問6へ）
- ウ、現在、働いてはいないが、過去には保育士として働いた経験がある（問5へ）
- エ、現在、働いてはいないが、過去に保育士以外の職種で働いた経験がある（問6へ）
- オ、現在、働いておらず、過去にも職種問わず働いた経験はない（問6へ）

問5（保育士として働いたことのある方のみ、問4でア・ウと答えた方）

保育士（保育教諭を含む）としての仕事を辞めた理由としてあてはまるものは何ですか。

（あてはまるものを5つ以内）

- ア、結婚
- イ、妊娠、出産
- ウ、子育てとの両立が難しい
- エ、健康上の理由（体力含む）
- オ、家族の事情（夫の転勤、家族の介護 等）
- カ、給与への不満
- キ、勤務体制（勤務時間、シフト体制）への不満
- ク、休暇が取れない（取りにくい）
- ケ、仕事量の多さ（記録等の事務、雑務等）
- コ、福利厚生への不満（具体的に ）
- サ、自分への評価に対する不満
- シ、職場の人間関係

- ②通勤時間 片道（ ）分以内
- ③担当を希望する児童の年齢（あてはまるものを全て）
ア、0歳児 イ、1～2歳児 ウ、3～5歳児
- ④その他、就職先を選ぶ上で重視することは何ですか（あてはまるもの全て）
ア、園の運営方針や園長・主任などの考え方 イ、保育士としてのやりがいを感じられる
ウ、子育てと両立できる エ、職場の雰囲気 オ、雇用形態（正規・非正規職員）
カ、給与 キ、福利厚生（具体的に ）
ク、勤務体制（勤務時間、シフト体制等） ケ、通勤時間 コ、家族の理解
サ、その他（ ）

問10 福島県では、福島県保育士・保育所支援センターが、保育士として働きたい方のための相談や就職支援を行っています。今後、福島県保育士・保育所支援センターから就職支援や情報提供（就職説明会、再就職支援セミナー等の開催案内など）を希望される方は、必要事項を記入してください。

（ふりがな） お名前	（姓）	（名）
ご住所	〒	
電話番号		
メールアドレス （※任意）		

※上記の目的以外で使用することはありません。

問11 最後に、あなたが「保育士として働くことへの不安」や「働くために支援が必要だと感じていること」、また「あったらいい制度」など、考えていることを是非、お聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

令和6年度
福島県保育士登録者へのアンケート調査
報告書

発行：令和7年3月

発行者：福島県こども未来局子育て支援課

〒960-8670 福島市杉妻町2-16

電話 024-521-8205

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/21035b/>

E-mail : kosodate@pref.fukushima.lg.jp